



HP LD4220tm および LD4720tm
デジタル サイネージ タッチ ディスプ
レイ

ユーザー ガイド

© 2011 Hewlett-Packard Development Company, L.P. 本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の限定的保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packard Company の書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

Microsoft、Windows、および Windows Vista は米国またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

初版：2011年9月

製品番号：626998-291

このガイドについて

このガイドでは、ディスプレイのセットアップ、ドライバーのインストール、オンスクリーン ディスプレイ メニューの使用法、トラブルの解決方法、およびディスプレイの仕様について説明します。

 **警告！** その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがあるという警告事項を表します。

 **注意：** その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがあるという注意事項を表します。

 **注記：** 重要な補足情報です。

目次

1 コンピューターの機能	1
HP デジタル サイネージ タッチ モデル	1
付属製品	2
オプション製品（別売）	2
2 安全および保守に関するガイドライン	3
安全に関する重要な情報	3
保守に関するガイドライン	4
ディスプレイの清掃	5
ディスプレイの運搬	5
3 ディスプレイのセットアップ	6
スタンド（別売）の取り付け	6
スピーカー（別売）の取り付け	9
縦向き取り付け	11
リモコンの使用	12
電池の取り付け	12
リモコンのボタンの確認	13
ディスプレイの各部	15
ディスプレイのコンポーネント	15
ディスプレイのコントロール パネル	16
ディスプレイのコネクタ	17
VESA 準拠の取り付けのサポートおよびセキュリティ スロット	18
外付けデバイスへの接続	19
RGB の接続	21
DisplayPort の接続（480p/576p/720p/1080i/1080p）	22
HDMI の接続（480p/576p/720p/1080i/1080p）	23
LAN の接続	24
USB（Universal Serial Bus）ケーブルの接続	25
ディスプレイのデジタイゼーション接続	25

4 ディスプレイの操作	27
ソフトウェアおよびユーティリティ	27
情報ファイル	27
Image Color Matching ファイル	27
.INF および.ICM ファイルのインストール	28
CD からのインストール	28
インターネットからのダウンロード	28
自動調整機能の使用 (RGB 入力ソースのみ)	29
オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの使用	30
リモコンを使用した OSD の調整	30
OSD メニューの選択	31
画面サイズの選択	38
時間機能の調整	39
Clock (時刻)	39
On Time (オンタイマー) および Off Time (オフタイマー)	39
Sleep Timer (スリープタイマー)	39
Auto Off (自動電源オフ)	40
Power On Delay (パワーオンディレイ)	40
[Key Lock] (キーロック) の使用	40
ISM Method (残像防止機能) の使用	41
Tile Mode (タイルモード) の使用	41
5 タッチ スクリーンの操作	43
プラグ アンド プレイ (Microsoft Windows 7 および Windows Vista)	43
タッチ スクリーン用ソフトウェアのインストール (Microsoft Windows XP)	43
CD からのドライバー ソフトウェアのインストール	43
インターネットからのドライバー ソフトウェアのインストール	44
Windows Vista および Windows 7 でのタッチ スクリーンの調整	45
Windows XP での[MultiTouch Platform]を使用したタッチ スクリーンの調整	45
タッチ スクリーンのカスタマイズ	45
タッチ キーボードおよび手書きタブの使用	46
指での操作	46
ファームウェアのアップグレード	46
6 複数ディスプレイのタッチ スクリーンのセットアップ	48
7 [HP Media Sign Player]の使用	49
Photo List (写真リスト) の使用	49
Music List (音楽リスト) の使用	51

Movie List (ムービーリスト) の使用	52
付録 A トラブルシューティング	54
一般的なトラブルの解決方法	54
インターネットの使用	56
お問い合わせになる前に	56
付録 B 技術仕様	57
HP デジタル サイネージ ディスプレイ	57
HP LD4220tm の寸法 (別売のスタンドおよびスピーカーを含む)	59
HP LD4720tm の寸法 (別売のスタンドおよびスピーカーを含む)	60
プリセット ディスプレイ解像度について	61
プリセット表示モード	61
DTV モード	61
電源ランプ	62
付録 C コマンド リファレンス	63
ケーブルの接続	63
RS-232-C の構成	63
通信パラメーター	64
コマンド参照リスト	64
送信/受信プロトコル	66
01. 電源 (コマンド : a)	67
02. 入力選択 (コマンド : b) (メイン画像入力)	67
03. 画面サイズ (コマンド : c) (メイン画像形式)	68
04. 画面ミュート (コマンド : d)	69
05. 音量ミュート (コマンド : e)	69
06. 音量調整 (コマンド : f)	70
07. コントラスト (コマンド : g)	71
08. 明るさ (コマンド : h)	71
09. カラー (コマンド : i) (ビデオ タイミングのみ)	72
10. 色合い (コマンド : j) (ビデオ タイミングのみ)	73
11. シャープネス (コマンド : k) (ビデオ タイミングのみ)	73
12. OSD 選択 (コマンド : l)	74
13. リモート ロック/キー ロック (コマンド : m)	75
14. バランス (コマンド : t)	75
15. 自動色温度 (コマンド : u)	76
16. 異常な状態 (コマンド : z)	76
17. 残像防止機能 (コマンド : j p)	77

18. 自動画面調整 (コマンド : j u)	77
19. キー (コマンド : m c)	78
20. タイルモード (コマンド : d d)	78
21. タイルの水平表示位置 (コマンド : d e)	79
22. タイルの垂直表示位置 (コマンド : d f)	79
23. タイルの水平サイズ (コマンド : d g)	79
24. タイルの垂直サイズ (コマンド : d h)	80
25. タイル ID の設定 (コマンド : d i)	81
26. ナチュラル (タイルモード) (コマンド : d j)	81
27. 映像モード (コマンド : d x)	82
28. オーディオモード (コマンド : d y)	82
29. ファン故障チェック (コマンド : d w)	83
30. 経過時間の読み取り (コマンド : d l)	83
31. 温度の値 (コマンド : d n)	84
32. ランプの故障チェック (コマンド : d p)	84
33. 自動ボリューム (コマンド : d u)	85
34. スピーカー (コマンド : d v)	85
35. タイマー (コマンド : f a)	86
36. オンタイマー (オン/オフ タイマー) のタイマー (コマンド : f d)	86
37. オフタイマー (オン/オフ タイマー) のタイマー (コマンド : f e)	87
38. 入力選択のスケジュール (コマンド : f u) (メイン画像入力)	89
39. スリープ タイマー (コマンド : f f)	90
40. 自動電源オフ (コマンド : f g)	90
41. 遅延電源投入 (コマンド : f h)	91
42. 言語 (コマンド : f i)	91
43. DPM 選択 (コマンド : f j)	92
44. リセット (コマンド : f k)	92
45. 省エネモード (コマンド : f l)	93
46. 電源ランプ (コマンド : f o)	93
47. シリアル番号チェック (コマンド : f y)	94
48. ソフトウェア バージョン (コマンド : f z)	94
49. 入力選択 (コマンド : x b)	94
赤外線コード	95
リモコンの赤外線コード	95
出力波形	95
フレームの構成	95
リード コード	96
リピート コード	96
ビット記述	96

フレーム間隔 : Tf	96
赤外線コード表	96
付録 D 規定に関するご注意	99
Federal Communications Commission notice (米国向け)	99
Modifications	99
Cables	99
Declaration of Conformity for products marked with the FCC logo (米国向け)	100
Canadian notice (カナダ向け)	100
Avis Canadien (カナダ向け)	100
European Union regulatory notice (欧州連合向け)	100
German ergonomics notice (ドイツ向け)	101
日本向け	101
Korean notice (韓国向け)	101
電源コードについて	102
日本国内での電源コードの要件	102
製品環境に関するご注意	102
有害物質の破棄	102
Disposal of waste equipment by users in private households in the European Union (欧州連合向け)	102
化学物質	103
HP リサイクル プログラム	103
製品の部材表示について	103
Turkey EEE regulation (トルコ向け)	104
Ukraine Restriction of Hazardous Substances (ウクライナ向け)	104

1 コンピューターの機能

HP デジタル サイネージ タッチ モデル

HP LCD デジタル サイネージ ディスプレイでは、アクティブ マトリクス方式の薄膜トランジスタ (TFT) ワイド パネルを採用しています。ディスプレイ機能には、以下のものが含まれます。

- HP LD4220tm モデルの場合は、表示領域 42 インチ (対角長 106.7 cm) のワイドスクリーン ディスプレイ、1920×1080 のネイティブ解像度
- HP LD4720tm モデルの場合は、表示領域 47 インチ (対角長 119.28 cm) のワイドスクリーン ディスプレイ、1920×1080 のネイティブ解像度
- 横および縦のどちらの向きでも壁に取り付け可能
- ビデオ入力は、DisplayPort 入出力、HDMI 入力、RGB 入出力、および RS-232-C 入出力の信号入力をサポート
- オーディオ入力コネクタおよび外付けスピーカー コネクタ
- リモート ディスプレイ制御および[HP Media Sign Player]制御用 LAN コネクタ
- [HP Media Sign Player] : USB 記憶装置に保存された画像、動画、音楽ファイルの再生や、再生リスト、時間オプション、スケジュールの設定が可能
- [HP Media Sign Player]用 USB コネクタ
- USB ケーブルでモニターとコンピューターを接続して、タッチ スクリーン用ドライバー機能を利用可能
- 設定を簡単にし、画面の最適化を可能にする、オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニュー (複数の言語に対応)
- ディスプレイの背面の画面調整ボタン (電源オン/オフ、AUTO/SET (自動/設定)、OSD 調整、MENU (メニュー)、および INPUT (入力))
- ユーザー コントロールによる[Picture] (映像)、[Tile Mode] (タイルモード)、[Timer] (タイマー)、[Energy Saving] (省エネモード)、[Aspect Ratio] (画面サイズ)、[Audio] (オーディオ)、およびその他の設定オプションの調整
- プラグ アンド プレイ機能 (システムでサポートされる場合)
- ディスプレイを固定し、盗難防止にも役立つセキュリティ ケーブルを背面に取り付け可能
- 600×400 mm の取り付け穴 (HP LD4220tm モデル) または 800×400 mm の取り付け穴 (HP LD4720tm モデル) が付いた VESA 準拠の取り付けインターフェイスをサポート

付属製品

- 『Software and Documentation CD』（ソフトウェアおよびドキュメンテーション CD）
- リモコン
- 電源コード
- DisplayPort ケーブル
- HDMI ケーブル
- RGB（VGA）ケーブル
- タッチ機能用 USB ケーブル

オプション製品（別売）

使用できるオプション製品（別売）は、モデルによって異なる場合があります。

- スタンド キット
- スピーカー キット
- 壁面取り付けキット

2 安全および保守に関するガイドライン

安全に関する重要な情報

お使いのディスプレイには電源コードが付属しています。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属している電源コードのみをお使いください。ディスプレイに接続する適切な電源コードについては、[102 ページの「電源コードについて」](#)を参照してください。

⚠ 警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- ・必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。
- ・電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にあるアースされたコンセントに差し込んでください。
- ・製品への外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っばらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をする際の姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。『快適に使用していただくために』は、HP の Web サイト (<http://www.hp.com/ergo/>から[日本語]を選択します) から参照できます。また、ディスプレイに説明書等のドキュメントを収録した CD が付属している場合はこの CD にも収録されています。

⚠ 注意： ディスプレイおよびメディア プレーヤー/コンピューターを保護するために、メディア プレーヤー/コンピューターおよび周辺装置（ディスプレイ、プリンター、スキャナーなど）のすべての電源コードを、マルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。すべてのマルチソケットがサージに対応しているわけではありません。サージ防止機能のあるマルチソケットを使用することをおすすめします。サージ防止に失敗した場合は機器を交換できるように、損傷交換ポリシーを提供している製造販売元のマルチソケットを使用してください。

お使いのディスプレイは、十分な大きさがあり丈夫で安定しているディスプレイ設置用の台などに設置してください。

⚠ 警告！ 化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカー、チェスト、またはカートなどの上にディスプレイを不用意に設置した場合、ディスプレイが倒れて怪我をするおそれがあります。

ディスプレイに接続するすべてのコードおよびケーブルについて、抜けたり、引っかかったり、つまずいたりしないように注意する必要があります。

⚠ 注意： 水が垂れてきたりかかったりする可能性がある場所にはデバイスを置かないでください。

花瓶など水が入っている物をデバイスの上に置かないでください。

保守に関するガイドライン

ディスプレイの性能を向上させ長く使用するために、以下のガイドラインを参考にしてください。

- ディスプレイのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみ使用してください。正常に動作しない場合や、ディスプレイを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、ディスプレイ裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流 (AMPS または A) は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- ディスプレイは、手が届きやすい場所にあるコンセントの近くに設置してください。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っばって抜かないでください。
- ディスプレイを使用していないときには、ディスプレイの電源を切るようにしてください。スクリーンセーバープログラムを使用したり、ディスプレイを使用していないときに電源を切るようにしたりすると、ディスプレイを長くお使いいただけます。

⚠ 注意： ディスプレイに長時間一定の画像を表示したままにしておくと、画像の焼き付きや残像が発生することがあります。画像の焼き付きや残像の発生を防ぎ、ディスプレイの寿命を延ばすには、OSD で 4 つの残像防止機能オプションのどれかを有効にするか、スクリーンセーバーアプリケーションを有効にするか、静止画像と動く画像の表示を定期的に繰り返すか、長時間ディスプレイを使用しないときはディスプレイの電源を切ります。

- キャビネットのスロットや開口部は通気のために必要です。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- ディスプレイを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- ディスプレイは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないでください。
- ディスプレイ台を取り外すときは、ディスプレイの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所に前面を下にして置いてください。

ディスプレイの清掃

1. ディ스플레이の電源を切り、ディスプレイの背面から電源コードを抜きます。
2. 清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で画面およびキャビネットを拭いて、ディスプレイからほこりを取り除きます。
3. 汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピル アルコールを 50 : 50 に混合した溶液を使用します。

△ 注意： 布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまう、電子部品が損傷するおそれがあります。

注意： ディ스플레이画面やキャビネットを清掃するために、ベンゼン、シンナーなどの揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーを使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、ディスプレイが損傷するおそれがあります。

ディスプレイの運搬

ディスプレイを運搬する場合は、ディスプレイ出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の材料を使用してしっかり梱包してください。

3 ディスプレイのセットアップ

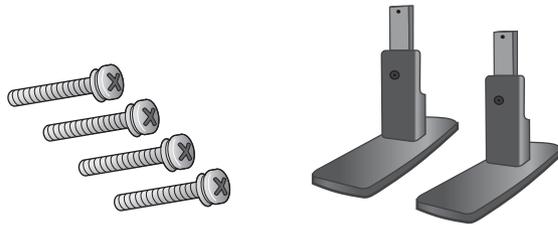
ディスプレイをセットアップするには、ディスプレイ、メディア プレーヤー/コンピューター システム、および接続されているその他の装置の電源がオフになっていることを確認してから、以下の操作を行います。

スタンド（別売）の取り付け

1. 箱からスタンドの部品を取り出します。

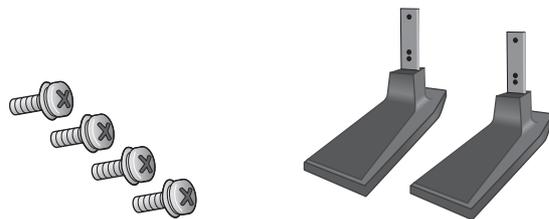
- HP LD4220tm : 4 つの M4×32 mm ネジおよびスタンド

図 3-1 HP LD4220tm : スタンドの付属品



- HP LD4720tm : 4 つの M4×10 mm ネジおよびスタンド

図 3-2 HP LD4720tm : スタンドの付属品



2. テーブルなど安定した平らな場所の上に柔らかい布を敷き、画面が下向きになるようにディスプレイを置きます。以下の図に示すように、スタンドを取り付けます。

図 3-3 HP LD4220tm : ディスプレイへのスタンドの差し込み

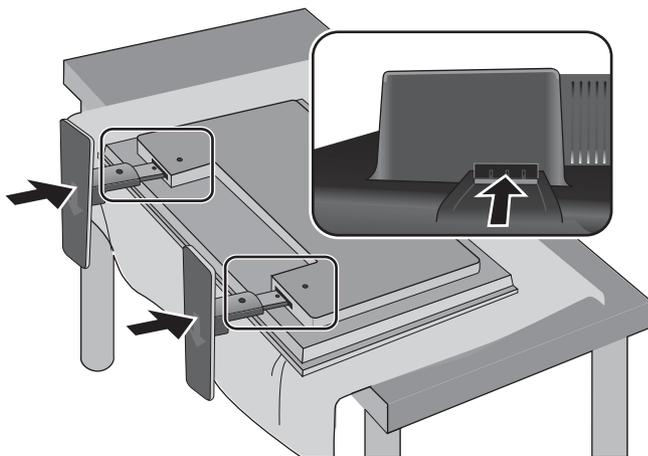
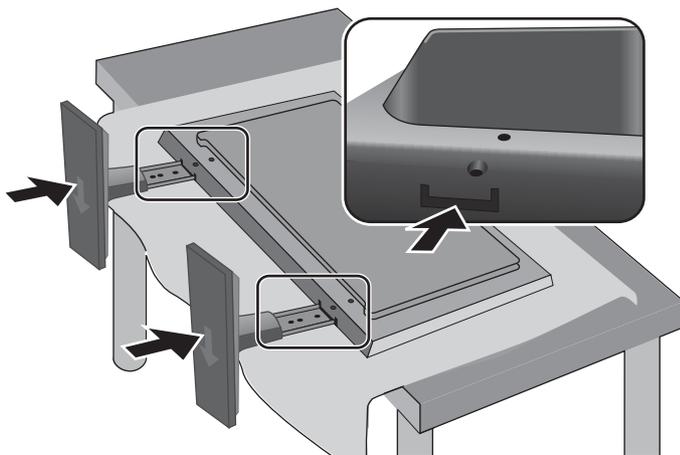


図 3-4 HP LD4720tm : ディスプレイへのスタンドの差し込み



3. 以下の図に示すように、ネジを使用して、スタンドをディスプレイの背面に固定します。

図 3-5 HP LD4220tm : ディスプレイへのスタンドの固定

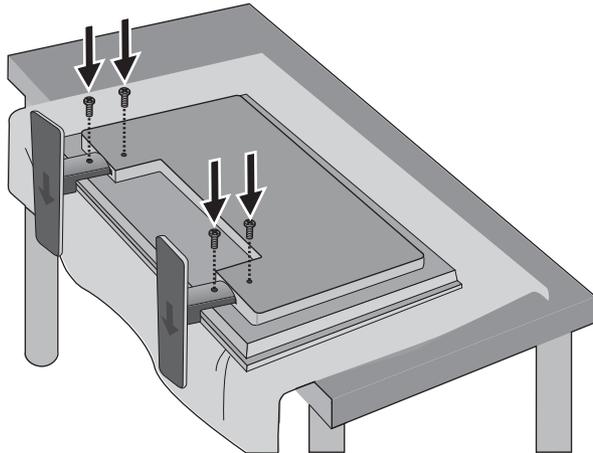
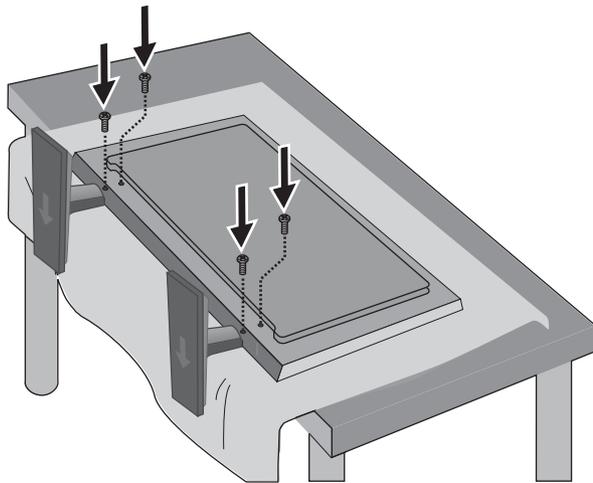


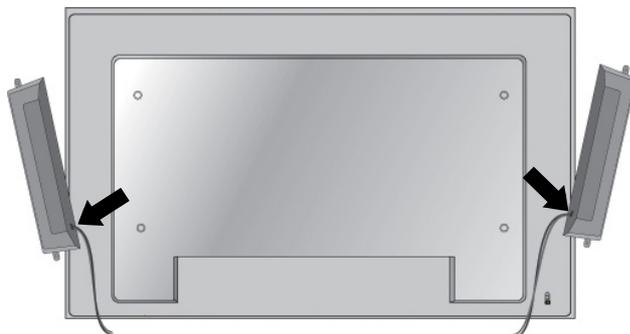
図 3-6 HP LD4720tm : ディスプレイへのスタンドの固定



スピーカー（別売）の取り付け

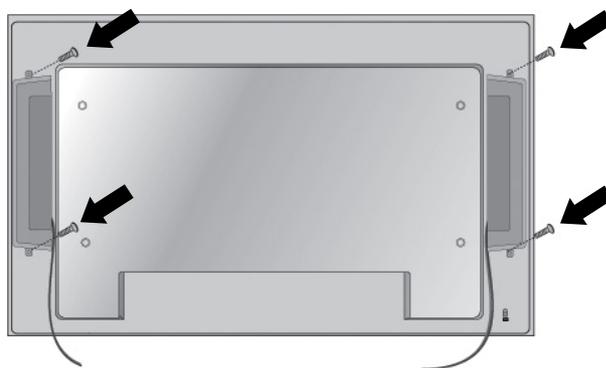
1. スピーカーをディスプレイに取り付けます。

図 3-7 スピーカーの取り付け



2. D3×12 mm のタップタイト ネジを 4 つ使用して、スピーカーをディスプレイに固定します。

図 3-8 ディスプレイへのスピーカーの固定



3. スピーカーを取り付けたら、ケーブルホルダーおよびケーブルタイ（一部のモデルのみ）を使用して、スピーカーのケーブルを固定します。

図 3-9 ケーブルホルダーの使用（一部のモデルのみ）

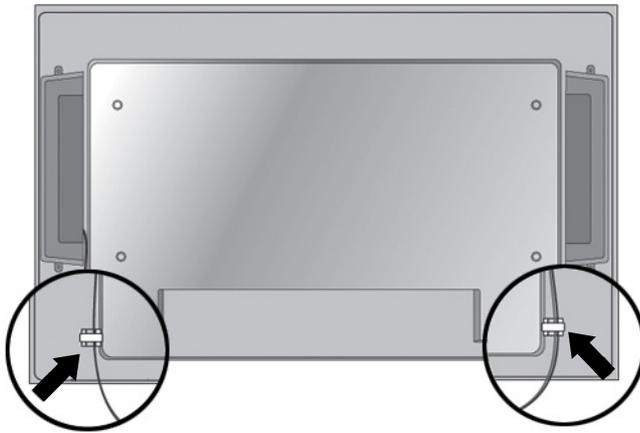
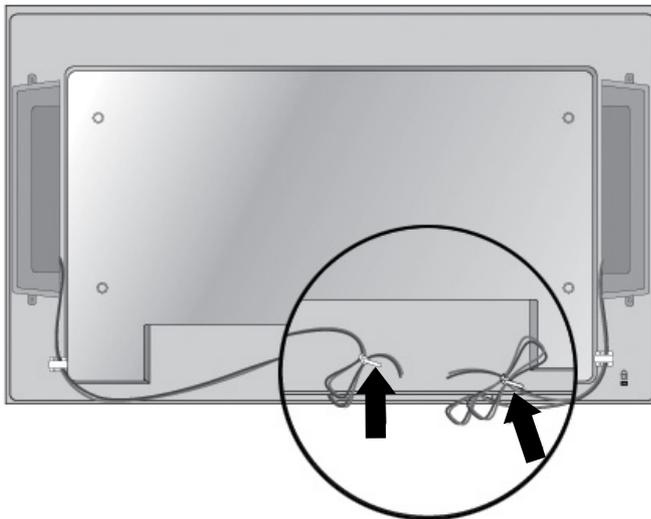
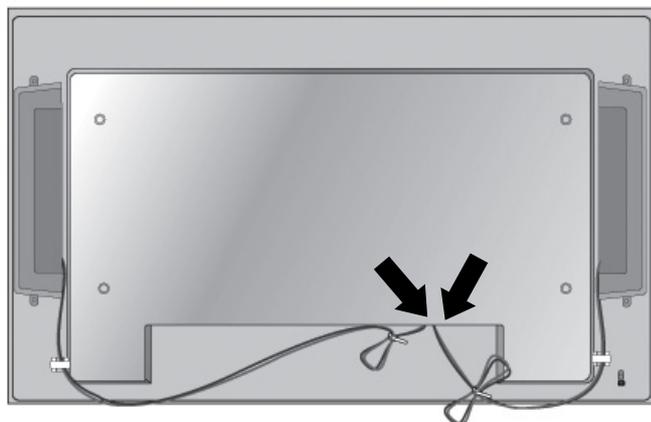


図 3-10 ケーブルタイの使用（一部のモデルのみ）



4. スピーカーを取り付けたら、左右のスピーカーの入力端子を、同じ色の SPEAKER（スピーカー）コネクタに接続します。

図 3-11 入力端子の接続

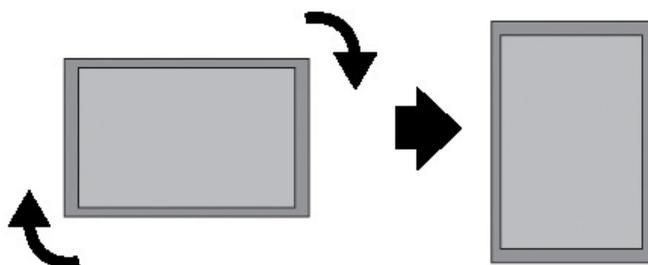


縦向きを取り付け

ディスプレイを縦向きに取り付けるには、正面から見て時計回りにディスプレイを回転させます。ディスプレイは、一方向にのみ回転させることができます。

 **注記：** スタンドに取り付けられている場合は、ディスプレイを回転させることはできません。

図 3-12 縦向きを取り付け



 **注記：** インジケータ ランプの位置は、横向きに取り付けた場合は右下隅、縦向きに取り付けた場合は左下隅です。

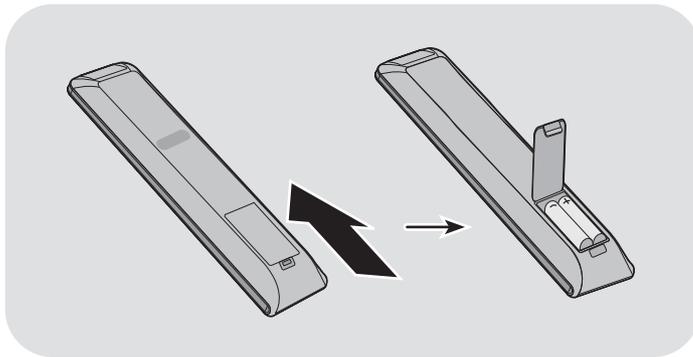
リモコンの使用

電池の取り付け

1. 電池カバーをスライドさせます。
2. (+極と一極が) 正しい向きになるようにして電池を取り付けます。
3. 電池カバーを閉じます。

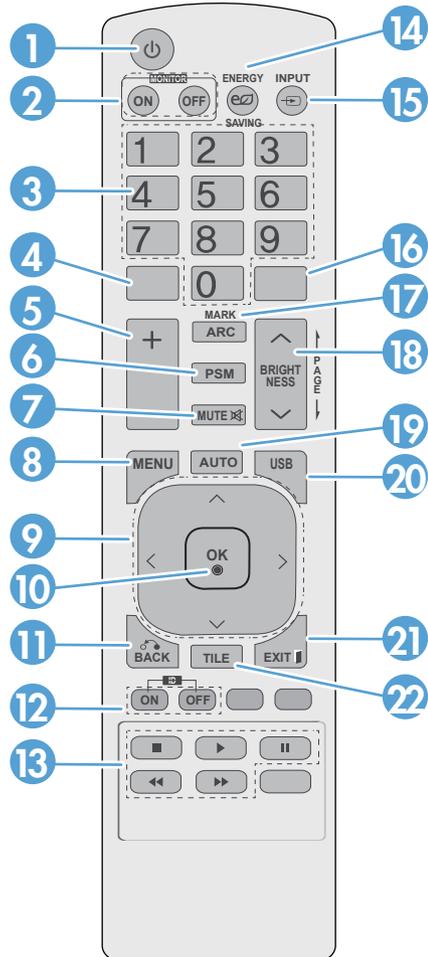
 **注記：** 環境汚染を防ぐため、日本では、使用済みの電池を処分する場合は、お住まいの地域の地方自治体の規則または条例に従って、公共の収集システム等を利用して正しくリサイクルまたは廃棄してください。

図 3-13 電池の取り付け



リモコンのボタンの確認

図 3-14 リモコンのボタン（外観や表記は国や地域によって異なる場合があります）



名称	機能
1 電源オン/オフ	ディスプレイの電源をスタンバイ モードからオンにしたり、オフにしてスタンバイ モードに移行したりします
2 MONITOR (モニター) の ON (オン) または OFF (オフ)	ディスプレイの電源のオン/オフを切り替えます
3 番号	数字を入力します
4	サポートされていません
5 + (音量上げ) または - (音量下げ)	音量を調整します
6 PSM	ピクチャー ステータス モードを選択します
7 MUTE (ミュート (消音))	サウンドのオン/オフを切り替えます
8 MENU (メニュー)	メニューを選択するか、またはすべてのオンスクリーン ディスプレイ メニューを消去してディスプレイ表示に戻ります

名称	機能
9	上向き/下向き/左向き/右向き矢印 オンスクリーン ディスプレイのメニュー項目間を移動して、システム設定を調整できます
10	OK 選択内容を確定するか、または現在のモードを表示します
11	BACK (戻る) 対話型アプリケーションで1つ前の手順に移動します
12	ID の ON (オン) または OFF (オフ) ディスプレイのロックを有効にします
13	USB メニューのコントロール ボタン [USB]メニューの[HP Media Sign Player]オプション一覧で使用します
14	ENERGY SAVING (省エネモード) [Energy Saving]モードを調整します
15	INPUT (入力) 入力ソースのメニュー オプション ([RGB]、[HDMI/DVI]、および[DisplayPort]) を表示します
16	 サポートされていません
17	ARC [Aspect Ratio] (画面サイズ) 変換モードを選択します
18	BRIGHTNESS (明るさ) リモコンの上向き矢印または下向き矢印ボタンを押して、解像度および輝度を調整します USB モードでは、BRIGHTNESS ボタンのページ機能を使用して、OSD メニューで次のファイル一覧に移動します
19	AUTO (自動) 自動的に画像の位置を調整し、画像のぶれを最小限に抑えます (RGB 入力のみ)
20	USB USB メニューを選択して[HP Media Sign Player]を制御します
21	EXIT (終了) すべてのオンスクリーン ディスプレイ メニューを消去して、ディスプレイ表示に戻ります
22	TILE (タイル) [TILE Mode] (タイルモード) を選択します

ディスプレイの各部

ディスプレイの各部とその機能について、以下のセクションで説明します。

ディスプレイのコンポーネント

図 3-15 HP LD4220tm : ディスプレイのコンポーネント

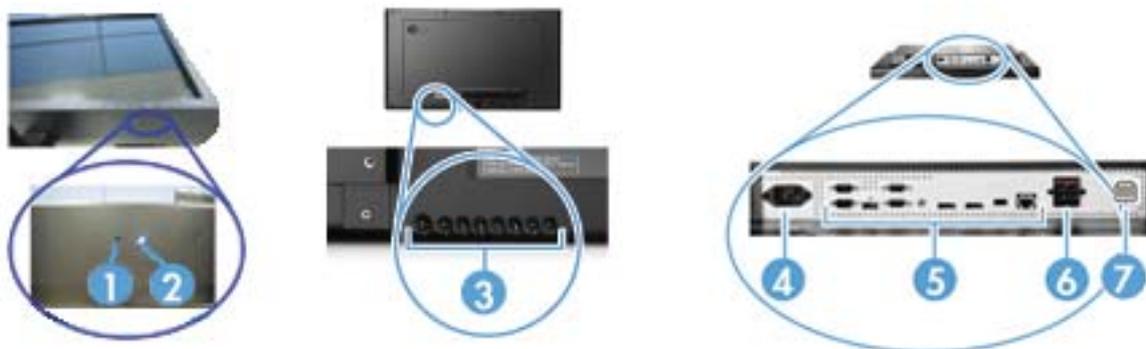
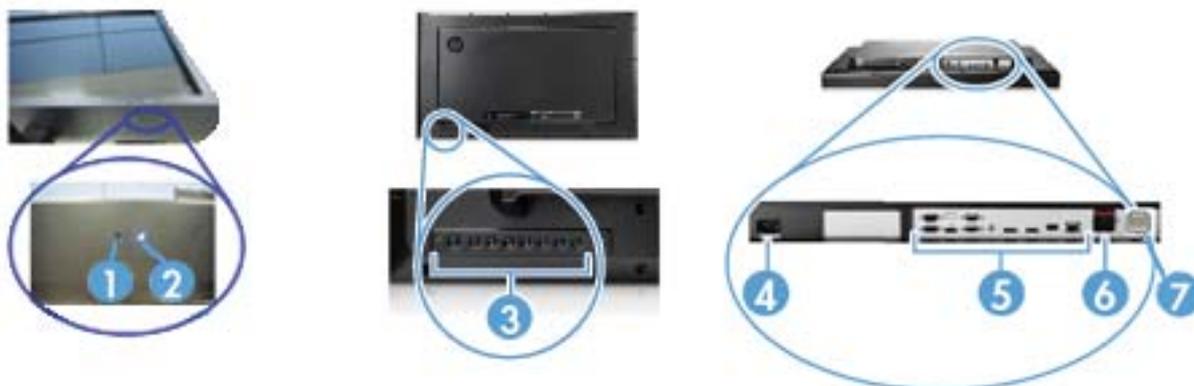


図 3-16 HP LD4720tm : ディスプレイのコンポーネント



名称	機能
1 赤外線受信部	リモコンからの信号を受信します
2 インジケータ ランプ	ディスプレイがオンの場合は青色に、省電力モードの場合はオレンジ色に点灯します
3 ディスプレイ コントロール ボタン	電源ボタンおよび OSD コントロール ボタンです
4 電源ソケット	ディスプレイを電源コンセントに接続するための電源ソケットです
5 ディスプレイ信号コネクタ	RGB 入出力、HDMI/DVI、RS-232-C 入出力、オーディオ入力、DisplayPort 入出力、USB、および LAN
6 外付けスピーカー コネクタ	外付けスピーカーを接続します
7 タッチ コネクタ	モニターとコンピューターを USB ケーブルで接続します

ディスプレイのコントロール パネル

図 3-17 HP LD4220tm : ディスプレイのコントロール パネル

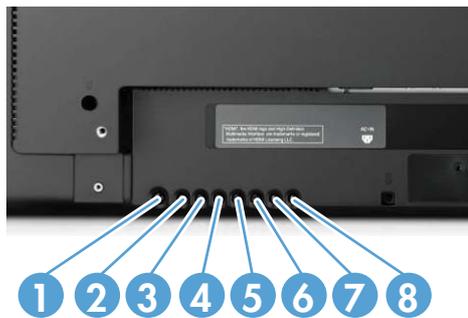
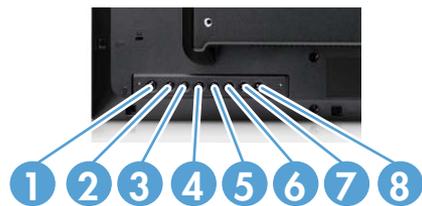


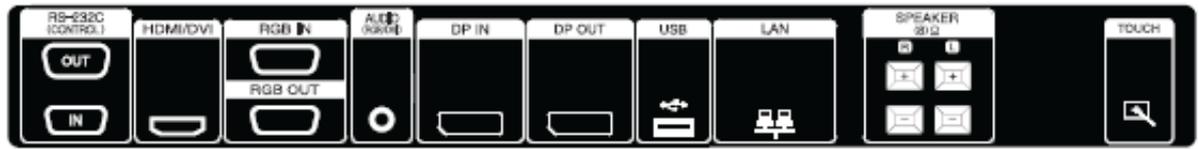
図 3-18 HP LD4720tm : ディスプレイのコントロール パネル



名称	機能
1 電源オン/オフ	押すと電源が入ります。再度押すと電源が切れます
2 AUTO/SET (自動/設定)	OSD ウィンドウが閉じられているときに押すと、画面表示を最適化する自動調整機能が有効になります OSD ウィンドウが開いているときに押すと、メニュー項目を選択するか、変更を保存できます
3 OSD の選択/調整ボタン 上向き	OSD のメニュー アイコンを選択したり、OSD 画面で設定を調整したりします 上向き矢印▲を押して、上のアイコンやレベルを選択します
4 OSD の選択/調整ボタン 下向き	OSD のメニュー アイコンを選択したり、OSD 画面で設定を調整したりします 下向き矢印▼を押して、下のアイコンやレベルを選択します
5 OSD の選択/調整ボタン 左向き	OSD のメニュー アイコンを選択したり、OSD 画面で設定を調整したりします 左向き矢印◀を押して、左のアイコンやレベルを選択します
6 OSD の選択/調整ボタン 右向き	OSD のメニュー アイコンを選択したり、OSD 画面で設定を調整したりします 右向き矢印▶を押して、右のアイコンやレベルを選択します
7 MENU (メニュー)	オンスクリーン ディスプレイ (OSD) のメニュー画面の表示/非表示を切り替えます
8 INPUT (入力)	以下のビデオ入力に切り替えます <ul style="list-style-type: none"> • [DisplayPort] : デジタル信号 • [HDMI/DVI] : デジタル信号 • [RGB] : 15 ピン D-Sub アナログ信号 (VGA)

ディスプレイのコネクタ

図 3-19 ディスプレイのコネクタ



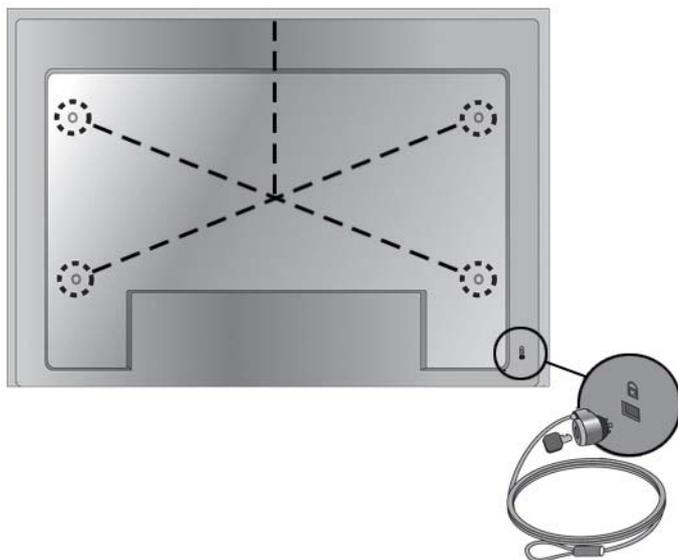
名称	機能
1 電源ソケット	ディスプレイを電源コンセントに接続するための電源ソケットです
2 RS-232-C (Control) シリアルコネクタ	RS-232-C デバイスを接続するための RS-232-C (Control) シリアル コネクタです
3 HDMI/DVI、RGB IN (RGB 入力)、および RGB OUT (RGB 出力)	HDMI は、高解像度 (HD) 入力および HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) をサポートしています。デバイスによっては、HD 信号を表示するために HDCP が必要となります。DVI 入力は、HDMI-DVI 変換ビデオ (信号) ケーブル (別売) を使用してサポートされます。RGB 入力は、コンピューターからのアナログ VGA 接続をサポートしています。RGB 出力は、VGA ケーブルによるディスプレイ間のクローン接続をサポートしています
4 AUDIO (RGB/DVI)(オーディオ (RGB/DVI))	オーディオ ケーブルをメディア プレーヤー/コンピューターのサウンド カードのライン出力に接続します 注記： ディスプレイの AUDIO (RGB/DVI)に接続する前に、メディア プレーヤー/コンピューターのサウンド カードで使用できるオーディオ出力の種類を確認してください。メディア プレーヤー/コンピューターのライン出力は、内蔵アンプ付きスピーカーを接続するために使用します。設定について詳しくは、サウンドカードのマニュアルを参照してください メディア プレーヤー/コンピューターのサウンド カードのオーディオ出力にスピーカー出力しかない場合は、メディア プレーヤー/コンピューターの音量を下げてからディスプレイの AUDIO (RGB/DVI)コネクタに接続してください メディア プレーヤー/コンピューターのサウンド カードのオーディオ出力がスピーカー出力とライン出力の両方をサポートしている場合は、ライン出力を選択してください
5 DP IN (DP 入力) および DP OUT (DP 出力) (DisplayPort)	DP IN は、DisplayPort ケーブルによるメディア プレーヤー/コンピューターからのデジタル入力をサポートしています。DP OUT は、DisplayPort ケーブルによるディスプレイ間のクローン接続をサポートしています
6 USB	USB 記憶装置を[HP Media Sign Player]に接続します
7 LAN	ディスプレイをメディア プレーヤー/コンピューターに直接接続します。また、直接的または (LAN ケーブルを使用してルーター、ハブ、スイッチ経由で) 間接的にディスプレイをネットワークに接続します
8 SPEAKER (スピーカー)	外付けスピーカーをディスプレイに接続します
9 TOUCH (タッチ)	ディスプレイとコンピューターを USB ケーブルで接続します

VESA 準拠の取り付けのサポートおよびセキュリティ スロット

VESA FDMI (Video Electronics Standards Association Flat Display Mounting Interface) 準拠の壁面取り付け：この製品は、VESA FDMI 準拠の取り付け器具をサポートしています。取り付け器具は HP から別途購入できます。

セキュリティ ケーブルの取り付け：盗難防止に役立つために、セキュリティ ロック ケーブルをディスプレイの背面に取り付けることができます。ディスプレイに接続するために必要なロック ケーブルは別売で、HP から購入できます。

図 3-20 VESA 基準の取り付け穴



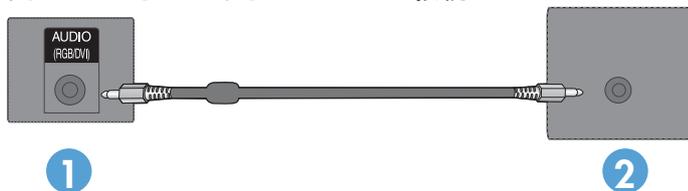
外付けデバイスへの接続

1. ディスプレイ、メディア プレーヤー/コンピューター、および取り付けられているすべてのデバイスの電源がオフになっていることを確認します。
2. 信号入力ケーブルを接続します。

詳しくは、以下のどれかの信号入力ケーブルのセクションを参照してください。

- [21 ページの「RGB の接続」](#)
 - [22 ページの「DisplayPort の接続 \(480p/576p/720p/1080i/1080p\)」](#)
 - [23 ページの「HDMI の接続 \(480p/576p/720p/1080i/1080p\)」](#)
 - [24 ページの「LAN の接続」](#)
3. ビデオ信号接続がメディア プレーヤー/コンピューターの RGB (VGA) コネクタまたは DVI コネクタからの接続である場合は、オーディオ ケーブル (別売) の一方の端をディスプレイの背面にある AUDIO (RGB/DVI) (オーディオ (RGB/DVI)) コネクタ (1) に接続し、もう一方の端をメディア プレーヤー/コンピューターのライン出力コネクタ (2) に接続します。

図 3-21 オーディオ ケーブルの接続



注記： オーディオ ケーブルを接続する場合、フェライト磁心を使用すると電磁波を低減できます。フェライト磁心をオーディオ ケーブルに取り付けます。フェライト磁心は、ケーブルの端子から 5 cm 離す必要があります。

4. 電源コードの一方の端をディスプレイの背面にある AC-IN (AC 入力) コネクタに接続し、もう一方の端を電源コンセントに差し込みます。電源コードを接続する前に、[3 ページの「安全に関する重要な情報」](#)に記載されている電源コードの安全に関する注意事項をお読みください。

図 3-22 HP LD4220tm : 電源コードの接続



図 3-23 HP LD4720tm : 電源コードの接続



5. 電源ボタン (1) を押してディスプレイの電源を入れます。

図 3-24 HP LD4220tm : 電源ボタン



図 3-25 HP LD4720tm : 電源ボタン



- メディア プレーヤー/コンピューターの電源を入れます。
- 入力信号を以下から選択します。

リモコンの INPUT（入力）ボタンを押して **[Input List]**（入力リスト）を表示し、適切な入力信号を選択してから、OK ボタンを押して変更を保存します。

または、ディスプレイの背面にある **INPUT** ボタンを押し、適切な入力信号を選択してから、**AUTO/SET**（自動/設定）ボタンを押して変更を保存します。

- D-Sub（VGA）ビデオ入力ケーブルを接続する場合は、**[Input List]** から **[RGB]** を選択します。
- HDMI 信号入力ケーブルまたは HDMI-DVI 変換ケーブル付き DVI ビデオ入力ケーブルを接続する場合は、**[Input List]** から **[HDMI/DVI]** を選択します。
- DisplayPort 信号入力ケーブルを接続する場合は、**[Input List]** から **[DP]** を選択します。

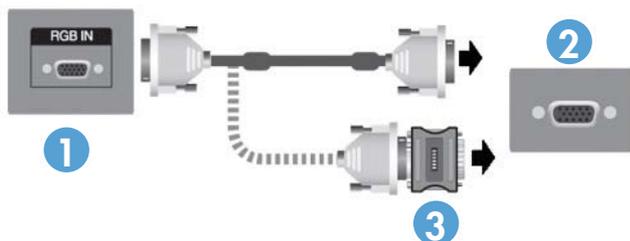
 **注記：** 2 台以上の入力ソースを接続する場合は、信号ケーブル（HDMI/DVI、RGB（VGA）、および DisplayPort）をそれぞれのメディア プレーヤー/コンピューターに接続します。表示する入力を選択するには、リモコンの INPUT（入力）ボタンを押します。

RGB の接続

- アナログ操作を行う場合は、D-sub ビデオ ケーブルの一方の端をディスプレイの背面にある RGB IN（RGB 入力）コネクタ（1）に接続し、もう一方の端をメディア プレーヤー/コンピューターのコネクタ（2）に接続します。

 **注記：** Mac のメディア プレーヤー/コンピューターに接続する場合は、Mac 用標準アダプター（3）を別途購入する必要があります。

図 3-26 D-Sub ビデオ ケーブルの接続



2. ビデオ信号接続がメディア プレーヤー/コンピューターの RGB (VGA) コネクタまたは DVI コネクタからの接続である場合は、オーディオ ケーブル (別売) の一方の端をディスプレイの背面にある AUDIO (RGB/DVI) (オーディオ (RGB/DVI)) コネクタ (1) に接続し、もう一方の端をメディア プレーヤー/コンピューターのライン出力コネクタ (2) に接続します。

図 3-27 オーディオ ケーブルの接続



3. 入力信号を以下から選択します。

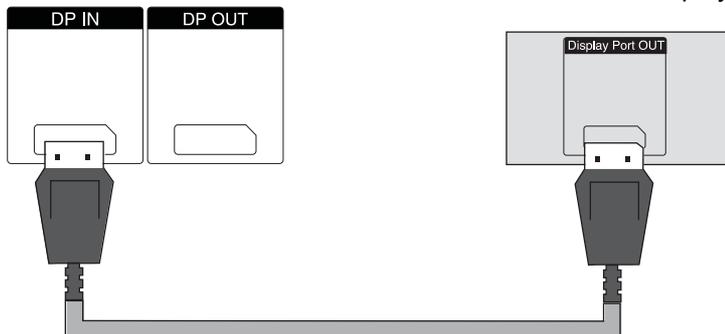
リモコンの INPUT (入力) ボタンを押して **[RGB]** 入力信号を選択し、OK ボタンを押して保存します。

または、ディスプレイの背面にある **INPUT** ボタンを押し、**[RGB]** 入力信号を選択してから、**AUTO/SET** (自動/設定) ボタンを押して保存します。

DisplayPort の接続 (480p/576p/720p/1080i/1080p)

1. DisplayPort ケーブルをディスプレイの DP IN (DP 入力) コネクタとメディア プレーヤー/コンピューターの DisplayPort 出力コネクタに接続してから、ディスプレイの電源コードを接続します。

図 3-28 メディア プレーヤー/コンピューターへの DisplayPort 入力の接続



2. 入力信号を選択します。

リモコンの INPUT (入力) ボタンを押して **[DP]** 入力信号を選択し、OK ボタンを押して保存します。

または、ディスプレイの背面にある **INPUT** ボタンを押し、**[Input List]** (入力リスト) で **[DP]** 入力信号を選択してから、**AUTO/SET** (自動/設定) ボタンを押して保存します。

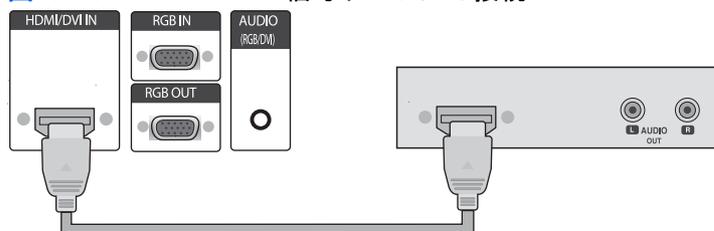
HDMI の接続 (480p/576p/720p/1080i/1080p)

HDMI は、高解像度入力および HDCP をサポートしています。デバイスによっては、HD 信号を表示するために HDCP が必要となります。

1. 以下のどちらかの例を使用して、HDMI 入力を接続します。

- HDMI 信号ケーブルをディスプレイの HDMI/DVI コネクタとメディア プレーヤー/コンピューターの HDMI コネクタに接続してから、ディスプレイの電源コードを接続します。

図 3-29 HDMI-HDMI 信号ケーブルの接続

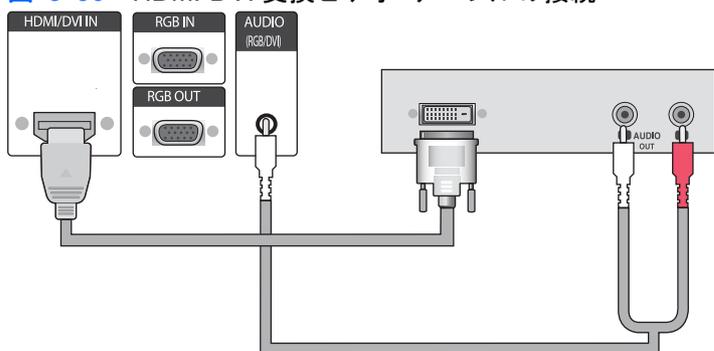


- HDMI-DVI 変換信号ケーブルをディスプレイの HDMI/DVI コネクタに接続してから、メディア プレーヤー/コンピューターの DVI コネクタに接続します。

メディア プレーヤー/コンピューターから AUDIO (オーディオ) 入力に接続する場合 (DVI 入力信号接続でのみ必要)、RCA-PC オーディオ ケーブル (別売) の一方の端をディスプレイに接続し、もう一方の端をメディア プレーヤー/コンピューターのオーディオ出力コネクタに接続してから、ディスプレイの電源コードを接続します。

注記: この製品の基準を満たすために、フェライト磁心付きのシールドされたビデオ インターフェイス ケーブル (D-Sub15 ピンケーブル、DVI ケーブル) を使用してください。

図 3-30 HDMI-DVI 変換ビデオ ケーブルの接続



2. 入力信号を選択します。

リモコンの INPUT (入力) ボタンを押して [HDMI/DVI] 入力信号を選択し、OK ボタンを押して保存します。

または、ディスプレイの背面にある INPUT ボタンを押し、[HDMI/DVI] 入力信号を選択してから、AUTO/SET (自動/設定) ボタンを押して保存します。

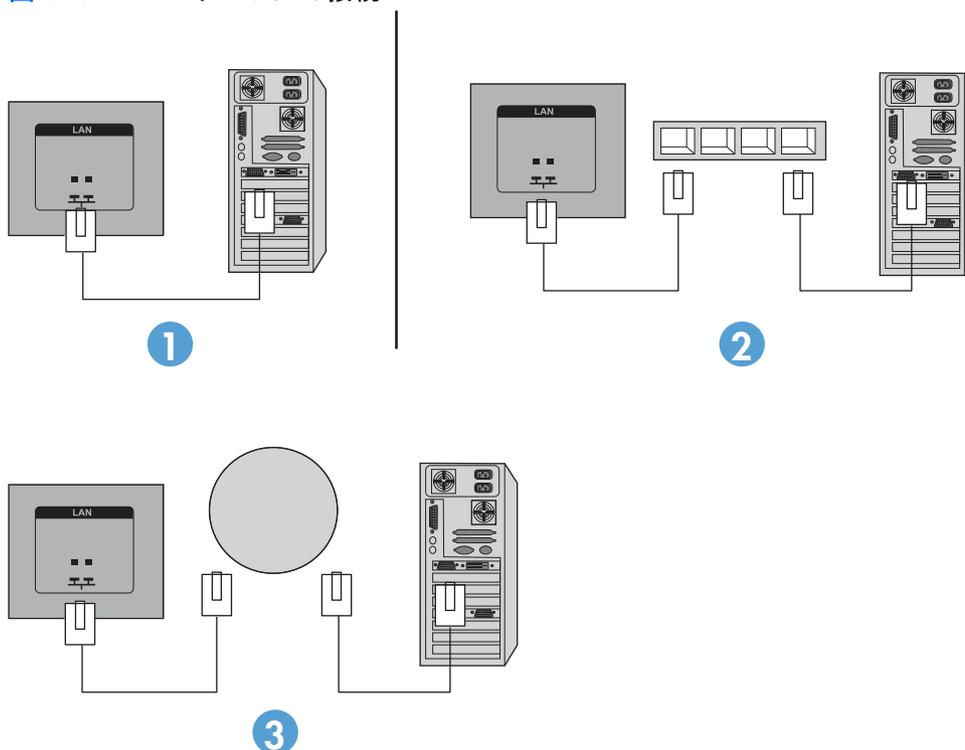
LAN の接続

ディスプレイの LAN 入力は、メディア プレーヤー/コンピューター、ルーター（スイッチ）、またはイントラネットに接続できます。ディスプレイを LAN 接続すると、メディア プレーヤー/コンピューターとディスプレイの間で通信が確立されます。これにより、接続したメディア プレーヤー/コンピューターで実行されている[HP Network Sign Manager]プログラムを使用して、IP アドレスをディスプレイに割り当てたり、ディスプレイ設定を変更したり、[HP Media Sign Player]のオプション、再生リスト、およびオン/オフ切り替えスケジュール時刻を設定したりできます。

1. 以下の接続のどれかを使用して、LAN ケーブル（別売）を接続します。

- コンピューターへの直接接続：LAN ケーブルをディスプレイの LAN コネクタとメディア プレーヤー/コンピューターの LAN コネクタに接続します（1）。
- ルーター：LAN ケーブルをディスプレイの LAN コネクタとルーターの LAN コネクタに接続します（2）。
- イントラネット：LAN ケーブルをディスプレイの LAN コネクタとイントラネット ネットワークに（アクセス ポイント経由で）接続します（3）。

図 3-31 LAN ケーブルの接続

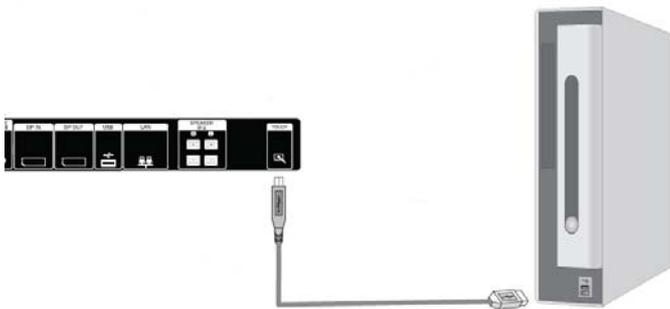


2. イントラネットに接続しているメディア プレーヤー/コンピューターに、[HP Network Sign Manager]をインストールします。[HP Network Sign Manager]をダウンロードするには、HP の Web サイト、 <http://www.hp.com/>（英語サイト）を参照してください。[HP Network Sign Manager]アプリケーションの使用方法について詳しくは、ディスプレイに付属の CD に収録されている『HP Network Sign Manager User Guide』（HP Network Sign Manager ユーザー ガイド）（英語版）を参照してください。

USB (Universal Serial Bus) ケーブルの接続

タッチ スクリーン機能を使用するには、ディスプレイとメディア プレーヤー/コンピューターを USB ケーブルで接続します。USB ケーブルを接続する前に、メディア プレーヤー/コンピューターの電源を入れてください。

図 3-32 USB ケーブルの接続



注記： ディスプレイの USB ターミナルは、USB 2.0 および Full Speed モード (12 Mbps) をサポートしています。

注記： Microsoft® Windows® 7 または Windows Vista® オペレーティング システムを搭載しているメディア プレーヤー/コンピューターとディスプレイを USB ケーブルで接続すると、Windows のタッチ スクリーン用ドライバ ソフトウェアが自動的にインストールされます。詳しくは、[43 ページの「タッチ スクリーンの操作」](#)を参照してください。Windows XP では、ドライバが必要になります。

ディスプレイのデージー チェーン接続

ディスプレイの DisplayPort 入出力コネクタを使用するか、RGB 入出力コネクタと RS-232-C 入出力コネクタを組み合わせると、複数のディスプレイ (最大 25 台) をデージー チェーン (複数のディスプレイを [Tile Mode] (タイルモード) で接続します) で 1 台のコンピューターに接続できます。

複数のディスプレイをデージー チェーンで接続するには、以下の図に示すように、すべてのディスプレイを同じ入出力ソース (DisplayPort 入出力、RS-232-C 入出力、または RGB 入出力) に接続する必要があります。

- デージー チェーン接続したディスプレイをビデオで使用するには、DisplayPort 入出力接続または RGB 入出力接続を使用します。
- デージー チェーン接続したディスプレイをビデオとディスプレイ コマンド/制御の両方で使用するには、DisplayPort 入出力接続または RGB 入出力に加えて、RS-232-C 入出力を使用します。

注記： デージー チェーンで 1 台のメディア プレーヤー/コンピューターに接続できるディスプレイの数は、信号の状態およびケーブル ロスによって異なる場合があります。信号の状態に問題がなく、ケーブル ロスもない場合は、最大で 25 台のディスプレイをデージー チェーンで 1 台のメディア プレーヤー/コンピューターから接続できます。

HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) でコピー プロテクトされたビデオを再生する場合、デージー チェーンで接続できるディスプレイの数は最大で 6 台です。

複数のディスプレイをデジチェーンで接続するには、入力信号ケーブルをメディアプレーヤー/コンピューターとデジチェーンの1台目のディスプレイに接続します。2台目以降のディスプレイは、同じ種類の入力信号ケーブルを使用してそのディスプレイの出力コネクタを次のディスプレイの入力コネクタに接続し、以下の図に示すように、すべてのディスプレイが接続されるまでの作業を繰り返します。

図 3-33 デジチェーン接続：ビデオ入力信号に DisplayPort を使用

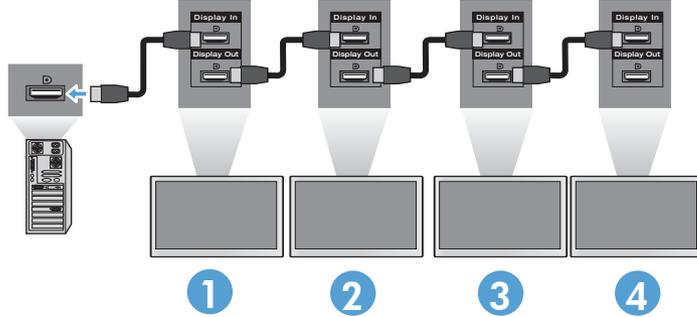


図 3-34 デジチェーン接続：ビデオ入力信号に RGB を使用

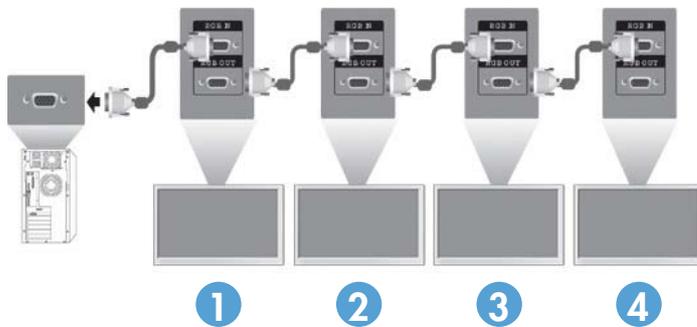
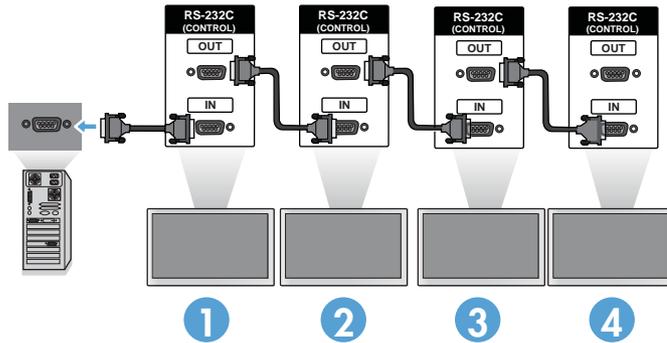


図 3-35 デジチェーン接続：RS-232-C



4 ディスプレイの操作

ソフトウェアおよびユーティリティ

HP のディスプレイは、Windows XP、Windows Vista™、および Windows 7 オペレーティング システムのプラグ アンド プレイ機能に対応しているため、これらのオペレーティング システム用の .INF ファイルや .ICM ファイルをダウンロードする必要はありません。以下のソフトウェアおよびユーティリティの最新バージョンをディスプレイで使用するには、必要に応じて、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/>（英語サイト）からダウンロードしてください。

- 自動調整用パターン ユーティリティ：ディスプレイを最適化します。
- [HP Media Sign Player]：接続したメディア プレーヤー/コンピューターからリモートでディスプレイ オプションを選択および制御できます。また、[HP Media Sign Player]のオプションを選択できます。[HP Media Sign Player]について詳しくは、[49 ページの「\[HP Media Sign Player\]の使用」](#)を参照してください。[HP Network Sign Manager]ソフトウェアをインストールおよび設定するには、ディスプレイに付属の CD に収録されている『HP Network Sign Manager User Guide』（英語のみ）を参照してください。
- Windows XP のタッチ スクリーン用ドライバー：インストール手順については[43 ページの「タッチ スクリーンの操作」](#)を参照してください。

 **注記：** ディスプレイに CD が付属していない場合は、.INF ファイル、.ICM ファイル、およびタッチ スクリーン用ドライバーを HP のディスプレイのサポート Web サイトからダウンロードできます。[28 ページの「インターネットからのダウンロード」](#)を参照してください。

情報ファイル

設定情報ファイルである .INF ファイルは、ディスプレイとお使いのメディア プレーヤー/コンピューターのグラフィックス アダプターとの互換性を確保するために、Microsoft Windows オペレーティング システムが使用するディスプレイ リソースを定義します。

Image Color Matching ファイル

画像の色調を調整する .ICM ファイルは、グラフィックス アプリケーションとともに使用される色データ ファイルで、ディスプレイとプリンター間またはスキャナーとディスプレイ間の色調を調整します。 .ICM ファイルは、この機能をサポートするグラフィックス アプリケーションの実行時にのみ有効です。

.INF および.ICM ファイルのインストール

.INF および.ICM ファイルは、CD からインストールするか、HP のディスプレイのサポート Web サイトからダウンロードできます。

CD からのインストール

.INF および.ICM ファイルを CD からメディア プレーヤー/コンピューターにインストールするには、以下の操作を行います。

1. CD をメディア プレーヤー/コンピューターの CD-ROM の読み出しが可能なオプティカル ドライブに挿入します。CD のメニューが表示されます。
2. **[Display Driver Readme]** (ディスプレイ ドライバーの Readme) ファイルを読みます。
3. **[Install display driver software]** (ディスプレイ ドライバー ソフトウェアをインストールする) を選択します。
4. 画面の説明に沿って操作します。
5. Windows の[画面のプロパティ]に適切な解像度およびリフレッシュ レートが表示されていることを確認します。

 **注記:** インストール時にエラーが発生した場合は、デジタル署名されているディスプレイの.INF および.ICM ファイルを手動でインストールする必要があります。手順については、CD の[Display Driver Readme]ファイル (英語版) を参照してください。

インターネットからのダウンロード

最新のバージョンの.INF ファイル、.ICM ファイル、およびタッチ スクリーン用ドライバーを HP のディスプレイのサポート Web サイトからダウンロードするには、以下の操作を行います。

1. <http://www.hp.com/support/>にアクセスし、国または地域を選択します。
2. [ドライバー&ソフトウェア ダウンロード]を選択してお使いの製品名などを[製品名/番号で検索]ボックスに入力し、[検索]ボタンをクリックしてサポート ページおよびダウンロード ページへのリンクをクリックします。
3. システムがインストール要件を満たしていることを確認します。
4. 画面の説明に沿って、ソフトウェアをダウンロードします。

自動調整機能の使用（RGB 入力ソースのみ）

ディスプレイの **AUTO/SET**（自動/設定）ボタン（リモコンの **AUTO**（自動）ボタン）および付属の CD に収録されている自動調整用パターン ユーティリティ ソフトウェアを使用して、画面の画質を最適化できます。

 **注記：** お使いのディスプレイが DisplayPort または HDMI/DVI 入力ソースを使用するように設定されている場合は、この手順を行わないでください。

お使いのディスプレイが PC アナログ信号入力を使用している場合は、この手順を行うことで以下の画質状況が修正されます。

- ぼやけて不明瞭な焦点
- ゴースト、線、および影の表示
- 薄い縦線
- 画面上を上下に移動する横線
- 中心がずれて表示される画像

自動調整機能を使用するには、以下の操作を行います。

1. ディ스플레이の電源を入れてから 20 分間のウォーム アップ時間をとります。
2. **AUTO/SET** ボタンを押します。
期待する結果が得られない場合は、引き続き以下の操作を行います。
3. CD をディスク ドライブに挿入します。CD のメニューが表示されます。
4. **[Open Auto-Adjustment Software]**（自動調整ソフトウェアを開く）を選択します。セットアップのためのテスト パターンが表示されます。
5. **AUTO/SET** ボタンを押して、画像を安定させ、中央に表示します。
6. **Esc** キーまたはキーボードの任意のキーを押して、テスト パターンを終了します。

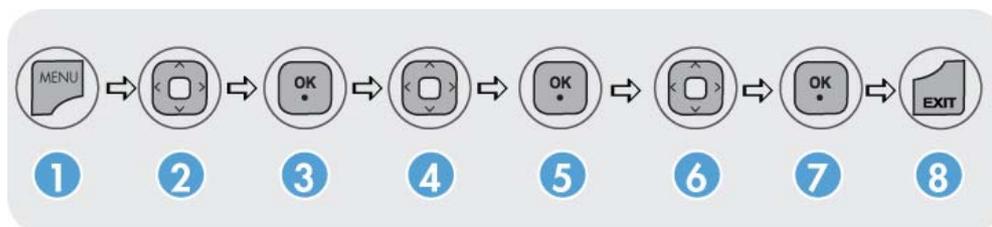
オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューの使用

ディスプレイの設定は、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）を使用して調整できます。

アイコン	メイン メニュー	機能の説明
	Picture（映像）	画面サイズ、明るさ、コントラスト、省エネモード、映像モード、画面オプションなどのビデオ特性を設定または変更します
	Audio（オーディオ）	オーディオのオプションを設定または変更します
	Time（時間）	タイマーのオプションを設定または変更します
	Option（オプション）	OSD の言語、ネットワーク設定、ランプのオン/オフ、コントロール ボタンのロック、電源管理、DDC-CI、残像防止機能などディスプレイのオプションを設定または変更します
	Tile（タイル）	タイルのオプションを設定または変更します
	USB	USB のオプションを設定または変更します

リモコンを使用した OSD の調整

OSD を使用すると、ユーザーの好みに合わせて画面表示を調整できます。OSD にアクセスするには、以下の操作を行います。



1. ディスプレイの電源が入っていない場合は、電源ボタンを押してディスプレイの電源を入れます。
2. リモコンの MENU（メニュー）ボタン（1）を押します。
3. コントロールにアクセスするには、下向き矢印▼または上向き矢印▲ボタン（2）を使用します。
4. 目的のアイコンが強調表示されたら、OK ボタン（3）を押します。
5. コントロールにアクセスするには、下向き矢印▼または上向き矢印▲ボタン（4）を使用します。
6. 目的の一覧が強調表示されたら、OK ボタン（5）を押します。
7. 下向き矢印▼、上向き矢印▲、左向き矢印◀、または右向き矢印▶ ボタン（6）を使用して、選択した項目を目的の内容に設定または変更します。
8. OK ボタン（7）を押して変更を確定します。
9. EXIT（終了）ボタン（8）を押して OSD メニューを終了します。

OSD メニューの選択

以下の表で、オンスクリーン ディスプレイ (OSD) のメニュー項目と各機能について説明します。

アイコン	メイン メニュー	サブメニュー	説明
	[PICTURE] (映像)	[Aspect Ratio] (画面サイズ)	以下の画面サイズから選択します <ul style="list-style-type: none">• [16:9] (16 : 9) : ワイドスクリーン モードです• [1:1] (1 : 1) : 縦横比が 1:1 の画像形式になります• [Just Scan] (ジャストスキャン) : 送信されたデータを、画像が欠けないように完全表示できます (このメニューは、720p、1080p、および 1080i (HDMI/DVI-DTV、DisplayPort-DTV) の場合にのみ有効です)• [Original] (オリジナル) : 入力信号に従って、縦横比が自動的に 16 : 9 または 4 : 3 の画像形式になります• [4:3] (4 : 3) : 縦横比が 4:3 の画像形式になります• [14:9] (14 : 9) : プログラムは標準で 14:9 の縦横比で表示され、黒い帯が上下に追加されます。縦横比が 4:3 のプログラムは、上下および左右に拡大されます• [Zoom] (ズーム) : 4:3 のプログラムが 16:9 の画面に合わせて拡大されます。プログラムの上下が切り取られます• [Cinema Zoom 1] (シネマズーム 1) : 縦横比が 2.35:1 の画像形式になるため、画像が水平方向に引き伸ばされて黒い帯が上下に追加されます
		[Energy Saving] (省エネモード)	以下の画面輝度から選択します <ul style="list-style-type: none">• [Off] (オフ) : 100%の輝度• [Level 1] (レベル 1) : 80%の輝度• [Level 2] (レベル 2) : 60%の輝度• [Level 3] (レベル 3) : 40%の輝度

アイコン	メインメニュー	サブメニュー	説明
		[Picture Mode] (映像モード)	<p>以下の画面プリセットから選択します</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [Vivid] (鮮明) : 最も明るい画像で表示します ● [Standard] (スタンダード) : 最も一般的で自然な表示状態です ● [Cinema] (シネマ) : 輝度を 1 レベル下げます ● [Sport] (スポーツ) : ソフトな画像で表示します ● [Game] (ゲーム) : ゲームで遊ぶときにダイナミックな画像を楽しめます ● [Expert 1] (ユーザー 1) および [Expert 2] (ユーザー 2) : 以下のユーザー定義設定を有効にします <ul style="list-style-type: none"> ○ [Backlight] (バックライト) : 画面の輝度を調整し、LCD パネルの輝度を調整します ○ [Contrast] (コントラスト) : 明るさと暗さのレベルの違いを調整します ○ [Brightness] (明るさ) : 画面の輝度を調整します ○ [Sharpness] (シャープネス) : 画面の鮮明さを調整します ○ [Color] (カラー) : 色を好みのレベルに調整します ○ [Tint] (色合い) : 色合いを好みのレベルに調整します <p>注記 : [Picture Mode] 設定を [Vivid]、[Standard]、[Cinema]、[Sport]、または [Game] に設定すると、上記の調整項目は自動的にあらかじめ定義されている設定になります</p>

アイコン	メインメニュー	サブメニュー	説明
		[Advanced Control] (アドバンスドコントロール)	<p>以下の画面色調整設定から選択します</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [Color Temperature] (自動色温度) : 以下の色設定から選択します <ul style="list-style-type: none"> ○ [Cool] (冷色) : わずかに紫色がかった白色にします ○ [Medium] (中間色) : わずかに青色がかった白色にします ○ [Warm] (暖色) : わずかに赤色がかった白色にします ● [Dynamic Contrast] (ダイナミックコントラスト) : 反射光の明るさに合わせてコントラストを自動的に最適化します ● [Dynamic Color] (ダイナミックカラー) : 反射光の色を自動的に調整して、できるだけ自然の色を再現します ● [Noise Reduction] (ノイズリダクション) : 元の画像が損なわれない範囲でノイズを除去します ● [Gamma] (ガンマ) : 好みのガンマ値を設定します。ディスプレイ上では、ガンマ値を高くすると画像が白っぽく表示され、ガンマ値を低くすると画像が高コントラストで表示されます ● [Black Level] (ブラックレベル) : 画面の黒レベルを使用して画面のコントラストおよび輝度を調整します (HDMI/DVI および DP 入カソースのみ) <ul style="list-style-type: none"> ○ [Low] (低) : 画面の反射光を暗くします ○ [High] (高) : 画面の反射光を明るくします ● [Film Mode] (フィルムモード) : 映画を鑑賞するときに最高の画質で表示されるようにディスプレイを調整します

アイコン	メインメニュー	サブメニュー	説明
		[Expert 1] (ユーザー 1) および [Expert 2] (ユーザー 2) コントロール	<p>以下の設定から選択します</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Dynamic Contrast] (ダイナミックコントラスト): 反射光の明るさに合わせてコントラストを自動的に最適化します • [Noise Reduction] (ノイズリダクション): 元の画像が損なわれない範囲でノイズを除去します • [Gamma] (ガンマ): 好みのガンマ値を設定します。ディスプレイ上では、ガンマ値を高くすると画像が白っぽく表示され、ガンマ値を低くすると画像が高コントラストで表示されます • [Black Level] (ブラックレベル): 画面の黒レベルを使用して画面のコントラストおよび輝度を調整します • [Film Mode] (フィルムモード): 映画を鑑賞するときに最高の画質で表示されるようにディスプレイを調整します • [Color Standard] (Color Standard): 色を調整します • [White Balance] (ホワイトバランス): 画面の全体的な色を好みに合わせて調整します • [Color Management System] (カラーマネジメントシステム): テストパターンを使用して調整します。他の色に影響を与えることなく、6つの色領域 (赤/緑/青/シアン/マゼンタ/イエロー) を別々に調整できます。一般的なビデオで調整を行っても、色の違いが区別できないことがあります
		[Picture Reset] (映像リセット)	[Picture Mode] (映像モード) を工場出荷時の設定に戻します
	[AUDIO] (オーディオ)	[Auto Volume] (自動ボリューム)	<p>すべてのチャンネルまたは信号間で均衡が取れていない音量を、最適なレベルに自動調整します</p> <p>この機能を使用するには [On] (オン) を、機能を無効にするには [Off] (オフ) を選択します</p>
		[Clear Voice II] (クリアボイス II)	<p>人間の音声とその他の音の音質に違いを付けて、人間の音声を聞き取りやすくします</p> <p>この機能を使用するには [On] (オン) を、機能を無効にするには [Off] (オフ) を選択します</p>
		[Balance] (バランス)	左右のスピーカーのサウンドを均等にします

アイコン	メインメニュー	サブメニュー	説明
		[Sound Mode] (オーディオモード)	現在再生しているビデオの種類に合わせて、最高の音質を以下のオプションから自動的に選択します <ul style="list-style-type: none"> • [Standard] (スタンダード) : 高品質の自然な音です • [Music] (音楽) : 音楽を聴くときに原音のサウンド用に選択します • [Cinema] (映画) : 壮大なサウンド用に選択します • [Sport] (スポーツ) : スポーツ中継用に選択します • [Game] (ゲーム) : ゲームで遊ぶときにダイナミックなサウンド用に選択します
		[Treble] (高音域)	高音域を 0~100 の間で調整します
		[Bass] (低音域)	低音域を 0~100 の間で調整します
		[Reset] (リセット)	[Sound Mode] (オーディオモード) を工場出荷時の設定に戻します
		[Speaker] (スピーカー)	内蔵スピーカーの状態を調整します (スピーカーは別売) この機能を使用するには [On] (オン) を、機能を無効にするには [Off] (オフ) を選択します 外付けの Hi-Fi ステレオ システムを使用するには、ディスプレイの内蔵スピーカーをオフにします
		[DisplayPort Audio Out] (DisplayPort 音声出力)	[DisplayPort] または [Analog] を選択します
	[TIME] (時間)	[Clock] (時刻)	現在時刻が正しくない場合に、 [Day] (日)、 [Hour] (時間)、および [Minute] (分) を再設定します
		[On Time] (オンタイマー)	事前に設定された時刻になると、自動的にディスプレイをオンに切り替えます
		[Off Time] (オフタイマー)	事前に設定された時刻になると、自動的にディスプレイをスタンバイに切り替えます
		[Sleep Timer] (スリープタイマー)	ユーザーによって設定された時刻が過ぎると、電源を自動的にオフにします
		[Auto Off] (自動電源オフ)	有効にした場合、入力信号のない状態が 10 秒以上続くと、ディスプレイが自動的にオフモードに切り替わります
		[Power On Delay] (パワーオンディレイ)	複数のディスプレイを接続して電源をオンにした場合に、ディスプレイの電源を 1 台ずつオンにして負荷がかかりすぎないようにします
	[OPTION] (オプション)	[Language] (言語 (Language))	OSD メニューを表示する言語を選択します
		[Input Label] (入力ラベル)	各入力ソースのラベルを選択します

アイコン	メインメニュー	サブメニュー	説明
		[Key Lock] (キーロック)	[On] (オン) に設定すると、ディスプレイのボタンが無効になり、ディスプレイ設定が勝手に変更されるのを防ぐことができます。 [On] に設定した場合、ディスプレイのオプションおよび設定は、リモコンまたは[HP Network Sign Manager]を使用するのみ設定または変更できます
		[Set ID] (セットID)	複数のディスプレイを接続して表示する場合に、固有のセットID 番号 (割り当て名) を各ディスプレイに割り当てるために使用します
		[ISM Method] (残像防止機能)	このオプションを使用すると、ディスプレイの画面を変化させ、静止画像が画面に長時間表示されないようにできます。そのため、画像の焼き付きや残像の発生を防ぎ、ディスプレイの寿命を延ばせます
		[DPM Select] (節電モード)	ディスプレイの電源管理を選択します。省電力モードの [On] (オン) と [Off] (オフ) を切り替えます
		[Power Indicator] (電源ランプ)	ディスプレイのフロント パネルにある電源ランプの [On] (オン) と [Off] (オフ) を切り替えます
		[DDC-CI]	この機能を [On] (オン) に設定すると、メディア プレーヤー/コンピューターから RS-232-C 接続経由でディスプレイの OSD コマンドを送信できます
		[DFC]	デジタル ファイン コントラストを設定します。この機能を使用するには [On] (オン) を、機能を無効にするには [Off] (オフ) を選択します
		[Interface Select] (インターフェイスを選択)	リモート ディスプレイ管理のために使用する接続を選択します。詳しくは、ディスプレイに付属の CD に収録されている『HP Network Sign Manager User Guide』(英語のみ) を参照してください
		[Network Setup] (ネットワークセットアップ)	ディスプレイに IP アドレスを割り当てる方式を選択します [IP Mode] (IP モード) オプション <ul style="list-style-type: none"> [DHCP]: ディスプレイがルーター経由でネットワークに接続されたときに、ディスプレイの IP アドレスを自動的に割り当てることができます [Manual] (マニュアル): IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ、および DNS サーバーを割り当てることができます <p>手動で正しい内容を入力するには、ネットワーク管理者に問い合わせてください。また、ディスプレイの IP アドレスの設定について詳しくは、ディスプレイに付属の CD に収録されている『HP Network Sign Manager User Guide』(英語のみ) を参照してください</p>
		[Information] (情報)	[Serial No] (シリアル No.)、 [SW Version (MNT)] (SW バージョン(MNT))、 [SW Version (LAN)] (SW バージョン(LAN))、 [IP Address] (IP アドレス)、および [MAC Address] (MAC アドレス) の情報が含まれます
		[Factory Reset] (工場出荷状態へリセット)	工場出荷時の設定にリセットします

アイコン	メインメニュー	サブメニュー	説明
	[TILE] (タイル)	[Tile Mode] (タイルモード)	<p>[Tile Mode]は、複数のディスプレイを1つのビデオウォールとして構成し、画像をそのビデオウォール全体に表示するときに使用します。各ディスプレイには、ビデオウォールに表示される画像全体の一部が表示されます</p> <p>[Tile Mode]を使用するには、複数のディスプレイを、RGB IN (RGB IN) と RGB OUT (RGB 出力)、または DP IN (DP 入力) と DP OUT (DP 出力) を使用して接続する必要があります。アプリケーションソフトウェアを使用するか、またはシリアルインターフェイス経由で接続された[HP Network Sign Manager]を使用してウォールのディスプレイにコマンドを送信する場合は、RS-232-C IN (RS-232-C 入力) と RS-232-C OUT (RS-232-C 出力) を使用してディスプレイを接続する必要があります</p> <p>詳しくは、41 ページの「[Tile Mode] (タイルモード) の使用」を参照してください。</p>
		[Tile ID] (タイル ID)	ID を 1~25 の範囲で設定してタイルの場所を選択します
		[Natural Mode] (ナチュラル)	この機能を [ON] (オン) に設定すると、ビデオウォールの各ディスプレイの画像を引き伸ばすことによって中枠部分 (ビデオウォール内で、各表示領域の間にあるディスプレイの枠のために表示されない部分) の補正が行われ、画像が表示されない中枠部分にまで画像が拡大されます。これにより、画像の歪みがなくなり、画像がディスプレイ全体に自然な比率で表示されます
		[H Size] (水平サイズ)	画面の水平サイズを調整します。このサイズがパネルの水平サイズとみなされます
		[V Size] (垂直サイズ)	画面の垂直サイズを調整します。このサイズがパネルの垂直サイズとみなされます
		[H Position] (水平位置)	画面の位置を水平方向に調整します
		[V Position] (垂直位置)	画面の位置を垂直方向に調整します
		[Reset] (リセット)	[Tile Mode] の設定をリセットします
	[USB]	[Photo List] (写真リスト)	USB 記憶装置の写真ファイルを表示します
		[Music List] (音楽リスト)	USB 記憶装置の音楽ファイルを再生します
		[Movie List] (ムービーリスト)	USB 記憶装置のムービーファイルを再生します

アイコン	メインメニュー	サブメニュー	説明
		[Lock System] (システムロック)	USB セキュリティ機能を有効にし、USB 記憶装置内の許可されていないファイルが[HP Media Sign Player]で再生されないようにします
		[Set Password] (パスワード設定)	[HP Media Sign Player]のパスワードを設定できます 注記: 正しいパスワードを入力するまで、すべての[USB]メニュー オプションが無効になります。パスワードを忘れた場合は、パスワード フィールドに 7777 と入力すると、[Set Password]メニューが表示され、パスワードを変更できます。初期設定のパスワードは 0000、マスター パスワードは 7777 です

 **注記:** 入力設定、入力ビデオ信号、映像モード、およびオプション設定によっては、一部の OSD オプションを設定または変更できない場合があります。該当するオプションは OSD メニューでグレー表示されます。

画面サイズを選択

選択できる縦横比モードは、現在の入力ソースによって異なります。以下の表を参照して、お使いのディスプレイで使用できるモードを確認してください。

モード	DisplayPort DTV	DisplayPort PC	RGB PC	HDMI/ DVI DTV	HDMI/ DVI PC
16:9 (16 : 9)	○	○	○	○	○
Just Scan (ジャストスキャン)	○			○	
Original (オリジナル)	○	○	○	○	○
4:3 (4 : 3)	○	○	○	○	○
1:1 (1 : 1)		○	○		○
14:9 (14 : 9)	○			○	
Zoom (ズーム)	○			○	
Cinema Zoom 1 (シネマズーム 1)	○			○	

時間機能の調整

リモコンを使用して、以下の時間のオプションを設定します。

[Clock] (時刻)

[Clock]メニューでは、現在時刻が正しくない場合に時計を手動で再設定できます。

1. MENU (メニュー) ボタンを押してから、下向き矢印▼ボタンまたは上向き矢印▲ボタンを使用して[TIME] (時間) メニューを選択します。
2. 右向き矢印▶ボタンを押してから、下向き矢印▼ボタンまたは上向き矢印▲ボタンを使用して[Clock]メニューを選択します。
3. 右向き矢印▶ボタンを押してから、下向き矢印▼ボタンまたは上向き矢印▲ボタンを使用して時間 (00~23 時) を設定します。
4. 右向き矢印▶ボタンを押してから、下向き矢印▼ボタンまたは上向き矢印▲ボタンを使用して分 (00~59 分) を設定します。

[On Time] (オンタイマー) および[Off Time] (オフタイマー)

[On Time]および[Off Time]メニューでは、事前に設定した時刻にディスプレイが自動的にスタンバイに切り替わるよう設定できます。

1. MENU (メニュー) ボタンを押してから、下向き矢印▼ボタンまたは上向き矢印▲ボタンを使用して[TIME] (時間) メニューを選択します。
2. 右向き矢印▶ボタンを押してから、下向き矢印▼ボタンまたは上向き矢印▲ボタンを使用して[On Time]または[Off Time]メニューを選択します。
3. 右向き矢印▶ボタンを押してから、下向き矢印▼ボタンまたは上向き矢印▲ボタンを使用して時間 (00~23 時) を設定します。
4. 右向き矢印▶ボタンを押してから、下向き矢印▼ボタンまたは上向き矢印▲ボタンを使用して分 (00~59 分) を設定します。
5. 右向き矢印▶ボタンを押してから、下向き矢印▼ボタンまたは上向き矢印▲ボタンを使用して[On] (オン) または[Off] (オフ) を選択します。

 **注記：** [On Time]または[Off Time]を設定すると、事前に設定した時刻にこれらの機能が毎日動作します。[Off Time]または[On Time]機能を同じ時刻に設定した場合は、[Off Time]の時刻が優先されます。[On Time]の時刻になると、消えていた入力画面が表示されます。

[Sleep Timer] (スリープタイマー)

[Sleep Timer]では、ユーザーが設定した時刻を過ぎるとディスプレイの電源が自動的にオフになるように設定できます。

1. MENU (メニュー) ボタンを押してから、下向き矢印▼ボタンまたは上向き矢印▲ボタンを使用して[TIME] (時間) メニューを選択します。
2. 右向き矢印▶ボタンを押してから、下向き矢印▼ボタンまたは上向き矢印▲ボタンを使用して[Sleep Timer]メニューを選択します。

3. 右向き矢印▶ボタンを押してから、下向き矢印▼ボタンまたは上向き矢印▲ボタンを使用して時間（00～23 時）を設定します。
4. 右向き矢印▶ボタンを押してから、下向き矢印▼ボタンまたは上向き矢印▲ボタンを使用して分（00～59 分）を設定します。

 **注記：** 停電（電源の切断または障害）が発生した場合は、[Sleep Timer]に設定した時刻を再設定する必要があります。

[Auto Off]（自動電源オフ）

[Auto Off]を有効にしているときに、入力信号のない状態が 15 秒以上続くとディスプレイが自動的にオフ モードに切り替わるようにするには、以下の操作を行います。

1. MENU（メニュー）ボタンを押してから、下向き矢印▼ボタンまたは上向き矢印▲ボタンを使用して[TIME]（時間）メニューを選択します。
2. 右向き矢印▶ボタンを押してから、下向き矢印▼ボタンまたは上向き矢印▲ボタンを使用して[Auto Off]メニューを選択します。
3. 右向き矢印▶ボタンを押してから、下向き矢印▼ボタンまたは上向き矢印▲ボタンを使用して[On]（オン）または[Off]（オフ）を選択します。

[Power On Delay]（パワーオンディレイ）

複数のディスプレイを接続して電源をオンにした場合に、ディスプレイの電源を 1 台ずつオンにして負荷がかかりすぎないようにします。

[Key Lock]（キーロック）の使用

ディスプレイの背面にあるディスプレイ コントロール ボタンが無効になるようにディスプレイを設定できます。[Key Lock]を[ON]（オン）に設定した場合、ディスプレイのオプションは、リモコンまたは[HP Network Sign Manager]を使用してのみ設定または変更できます。

1. MENU（メニュー）ボタンを押してから、下向き矢印▼ボタンまたは上向き矢印▲ボタンを使用して[OPTION]（オプション）メニューを選択します。
2. 右向き矢印▶ボタンを押してから、下向き矢印▼ボタンまたは上向き矢印▲ボタンを使用して[Key Lock]メニューを選択します。
3. オンスクリーン ディスプレイ（OSD）画面での調整をロックするには、右向き矢印▶ボタンを押してから、下向き矢印▼ボタンまたは上向き矢印▲ボタンを使用して[On]を選択します。
4. オンスクリーン ディスプレイ（OSD）画面での調整をロック解除するには、右向き矢印▶ボタンを押してから、下向き矢印▼ボタンまたは上向き矢印▲ボタンを使用して[Off]（オフ）を選択します。

[ISM Method] (残像防止機能) の使用

静止画像を長い間画面に表示させていると、画像の焼き付きや残像が発生する可能性があります。画像の焼き付きや残像が発生するのを防ぐには、固定画像を長い時間表示しないようにします。そのためには、ディスプレイをオフにするか、または画像を変化させます。静止画像を長い間画面に表示させている場合は、以下のように、残像防止機能オプションを使用して残像または画面の焼き付きを防止できます。

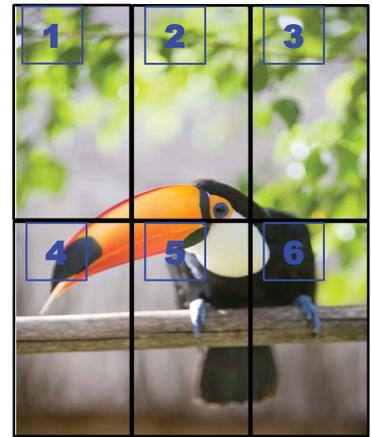
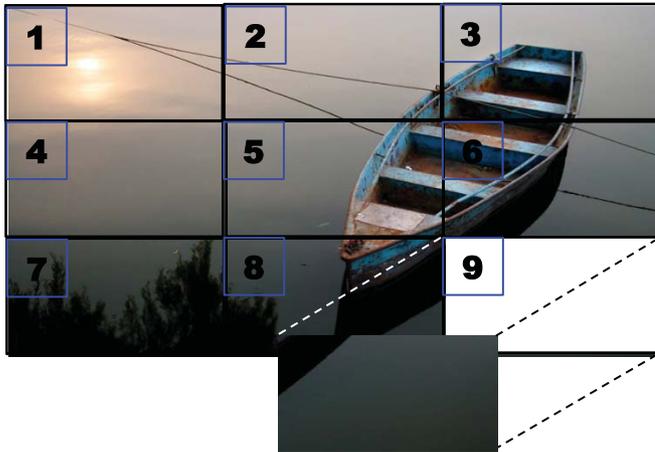
1. MENU (メニュー) ボタンを押してから、下向き矢印▼ボタンまたは上向き矢印▲ボタンを使用して[OPTION] (オプション) メニューを選択します。
2. 右向き矢印▶ボタンを押してから、下向き矢印▼ボタンまたは上向き矢印▲ボタンを使用して[ISM Method]メニューを選択します。
3. 以下のメニュー オプションのどれか1つを選択します。
 - [Normal] (ノーマル) : 残像防止機能を有効にしない場合は、[Normal]のままにします。ディスプレイをオフにすると残像防止機能の設定は、ディスプレイがオフにされたときに残像防止機能モードが[ON] (オン) になっていた場合でも[Normal]にリセットされます。
 - [Orbiter] (オービター) : 画面が2分ごとに2ピクセルずつ、上、下、左、または右に動きます。残像防止機能メニューで変更されるまで、[Orbiter]は有効のままです。
 - [Inversion] (階調反転) : この機能は、残像または画面の焼き付きを修正するために使用できます。この機能では、画面の色が30分ごとに反転します。画像が反転されているときにUSB機能に入ると、この機能で表示される画像が反転します。残像防止機能メニューで変更されるまで、反転機能は有効のままです。
 - [White wash] (ホワイトウォッシュ) : この機能も、残像または画面の焼き付きを修正するために使用できます。この機能では、画面全体が白色で塗りつぶされます。これは、画面に焼き付いた残像を消去するときに役立ちます。リモコンのどれかのキーを押すと[White Wash]機能は終了し、画面が[Normal]に戻ります。

[Tile Mode] (タイルモード) の使用

[Tile Mode]は、ビデオウォールを構成する複数のディスプレイ全体に1つの画像を拡大表示するために使用します。最大で5×5のビデオウォールを定義できます。また、ディスプレイは横向きまたは縦向きにできます。[Tile Mode]では、各ディスプレイにウォール内での相対位置を示す番号を割り当てることができます。番号は左上隅を起点として、行ごとに左から右に割り当てます。以下の図に示すように、各ディスプレイには、画像全体の対応する部分が自動的に表示されます。

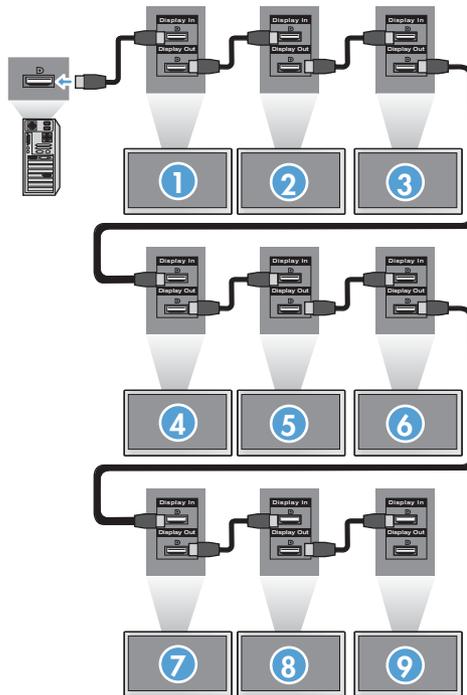
各ディスプレイに正しい位置番号を割り当てするには、以下の操作を行います。

[MENU] (メニュー) → [PICTURE] (映像) → [TILE] (タイル) → [Tile Mode] (タイルモード) → [OK] → [3x3] → [Close] (閉じる) → [Tile ID] (タイル ID) → [OK] → [1] (1番目のディスプレイの場合、2番目のディスプレイの場合は[2]...9番目のディスプレイの場合は[9]) → [Close] → [Natural Mode] (ナチュラル) → [OK] → [ON] (オン) (中枠部分を補正して、ビデオウォール全体で画像の歪みをなくします) → [OK] → [EXIT] (終了) の順に選択します。



以下の図に示すように、**RGB IN** (RGB 入力) と **RGB OUT** (RGB 出力)、または **DP IN** (DP 入力) と **DP OUT** (DP 出力) を使用して、各ディスプレイを他のディスプレイに接続する必要があります。メディアプレーヤー/コンピューターからディスプレイ コマンドを実行するには、ビデオ接続と同じように、**RS-232-C IN** (RS-232-C 入力) と **RS-232-C OUT** (RS-232-C 出力) を使用して各ディスプレイを接続する必要があります。

図 4-1 [Tile Mode] の 3×3 のビデオウォール : DP IN と DP OUT でディスプレイを接続



5 タッチ スクリーンの操作

プラグ アンド プレイ (Microsoft Windows 7 および Windows Vista)

Microsoft Windows 7 または Windows Vista オペレーティング システムを搭載しているコンピューターとモニターを USB ケーブルで接続すると、Windows のタッチ スクリーン用ドライバー ソフトウェアが自動的にインストールされます。ドライバー ソフトウェアのインストールには数分かかることがあります。インストールが完了すると、正常にインストールされたことを示すメッセージが画面の右下隅に表示されます。タッチ スクリーン用ドライバーをインストールすると、タッチ スクリーンを使用してオブジェクトを選択、起動、およびドラッグできるようになります。オブジェクトを選択するには、画面にタッチします。Microsoft Windows Vista および Windows 7 オペレーティング システムでは、タッチ スクリーン用ドライバーのインストール プログラムを使用してもドライバーはインストールされません。これらのオペレーティング システムには、このモニターで使用できる Microsoft のプラグ アンド プレイ対応タッチ スクリーン用ドライバーがあらかじめ搭載されています。

 **注記：** USB ケーブルの接続方法については、[25 ページの「USB \(Universal Serial Bus\) ケーブルの接続」](#)を参照してください。

タッチ スクリーン用ソフトウェアのインストール (Microsoft Windows XP)

最適な状態でタッチ スクリーン機能を利用するために、[MultiTouch Platform]ソフトウェアをインストールすることをおすすめします。また、2.5 GHz のデュアル コアを搭載したコンピューターを使用することをおすすめします。

CD からのドライバー ソフトウェアのインストール

デジタル サイネージ ディスプレイに付属の CD には、Windows アプリケーションでタッチ スクリーンと通信してタッチ スクリーンの機能を使用できるようにするためのインストール ファイルが収録されています。

この CD からタッチ スクリーン用ドライバーをインストールするには、以下の操作を行います。

1. CD をメディア プレーヤー/コンピューターに挿入します。
2. **[Install MultiTouch Platform]** ([MultiTouch Platform]をインストールする) をクリックします。**[Next]** (次へ) をクリックし、画面の説明に沿ってタッチ スクリーン用ドライバーをインストールします。

3. セットアップによるタッチ スクリーン用ドライバーのインストールが完了したら、再起動するために**[Yes]**（はい）を選択して、**[Finish]**（完了）をクリックします。
4. タッチ スクリーン ディスプレイ用（USB）ケーブルをコンピューターに接続します。

タッチ スクリーン用ドライバーをインストールし、USB ケーブルを接続してコンピューターを再起動すると、ドライバーのインストールを完了するための**[新しいハードウェアの検出ウィザード]**が表示されます。赤外線タッチ スクリーン デバイス用ドライバーをインストールするには、以下の操作を行います。

1. **[はい]**を選択して**[次へ]**をクリックし、画面の説明に沿って操作します。
2. このドライバーが Windows のロゴ テストに合格していないことを警告する**[ハードウェアのインストール]**画面が表示されたら、**[続行]**をクリックします。
3. 『IR Touch Controller Installation Disk』のファイルを要求されたら、そのファイルの場所を参照して**[OK]**をクリックします。
4. ウィザードがソフトウェアのインストールを完了したら、**[完了]**をクリックしてウィザードを閉じます。

タッチ モニター用ドライバーをアンインストールするには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[プログラム]**→**[MultiTouch Driver]**（マルチタッチ ドライバー）→**[Uninstall MultiTouch Driver]**（マルチタッチ ドライバーのアンインストール）の順に選択し、**[Yes]**をクリックして、タッチ スクリーン用ドライバーの削除を確定します。
2. **[Yes]**をクリックして、タッチ スクリーン用ドライバーの削除を確定します。
3. **[スタート]**→**[プログラム]**→**[MultiTouch Platform]**（MultiTouch Platform）→**[Uninstall MultiTouch Platform]**（[MultiTouch Platform]のアンインストール）の順に選択し、**[Yes]**をクリックして**[MultiTouch Platform]**の削除を確定します。
4. **[Yes]**をクリックして、[MultiTouch Platform]の削除を確定します。

インターネットからのドライバー ソフトウェアのインストール

インターネットからタッチ スクリーン用ドライバーをダウンロードしてインストールするには、以下の操作を行います。

1. HP の Web サイト、<http://www.hp.com/support/>にアクセスします。
2. 国または地域を選択します。
3. 言語を選択します。
4. **[ドライバー &ソフトウェア ダウンロード]**を選択し、ディスプレイのモデル名またはモデル番号を入力します。
5. 画面の説明に沿って操作し、Setup.exe ファイルをダウンロードします。
6. ファイルを開き、InstallShield ウィザードの指示に従ってドライバー ソフトウェアをインストールします。
7. ドライバー ソフトウェアがインストールされていることを確認するには、**[スタート]**→**[すべてのプログラム]**の順に選択し、**[スタート]**メニューに**[MultiTouch Platform Software]**フォルダーが表示されていることを確認します。

Windows Vista および Windows 7 でのタッチ スクリーンの調整

タッチ スクリーンを最初に使用するとき、タッチ スクリーンを調整する必要はありません。ただし、ある段階で調整が必要になることがあります。タッチ スクリーンを調整するには、以下の操作を行います。

1. Windows 7 のデスクトップで、[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[Tablet PC 設定]の順に選択します。
2. [Tablet PC 設定]の[画面]タブで、[調整]ボタンを押します。調整用ウィンドウが表示されます。
3. 調整用ウィンドウで、画面の四隅に表示された十字型記号を1つずつタップします。調整が完了すると、調整データを保存するかどうかを尋ねるダイアログ ボックスが表示されます。
4. このダイアログ ボックスで[はい]を選択して調整データを保存し、調整用ウィンドウを閉じます。

Windows XP での[MultiTouch Platform]を使用したタッチ スクリーンの調整

[MultiTouch Platform]ソフトウェアのインストール後にタッチ スクリーンの調整が必要になった場合は、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[MultiTouch Platform] (MultiTouch Platform) → [MultiTouch Platform]→[Calibration] (調整) の順に選択します。[Calibration]ダイアログが画面に表示されます。
2. 指示に従って、最初の黒色の十字型の記号を押し続けます。
3. 黒色の十字型の記号が緑色に変わったら、指を離します。
4. 残りの3つの十字型の記号について、手順2を繰り返します。

タッチ スクリーンのカスタマイズ

Microsoft Windows 7 では、タッチ スクリーン設定を好みに合わせてカスタマイズできます。たとえば、利き手（左利きまたは右利き）に合わせてメニューの表示位置を画面の右側または左側に変更できます。これを行うには、[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[Tablet PC 設定]の順に選択してから、[その他]タブを選択します。

タッチ スクリーン設定をさらにカスタマイズするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[ペンとタッチ]の順に選択します。[ペンとタッチ]ダイアログでは、以下の操作を実行できます。

- 各ペン操作の設定を調整する
- ナビゲーション フリックの設定を変更する
- 手書き認識の個人用設定を変更する
- 各タッチ操作の設定を調整する
- タッチ パン ジェスチャを調整する

タッチ キーボードおよび手書きタブの使用

Microsoft Windows 7では、[Tablet PC 入力パネル]のタッチ キーボードまたは手書きタブを使用してアプリケーションにデータを入力できます。これを行うには、[Tablet PC 入力パネル]を起動し、[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[Tablet PC]→[Tablet PC 入力パネル]の順に選択します。

タッチ キーボードと手書きタブを切り替えるには、[Tablet PC 入力パネル]の左上隅にある[タッチ キーボード]ボタンまたは[手書きパッド]ボタンをタップします。

[Tablet PC 入力パネル]の設定を変更するには、パネルの左上隅にある[ツール]ボタンをタップして[オプション]を選択します。

指での操作

Microsoft Windows オペレーティング システムを起動して適切なジェスチャ設定が読み込まれると、タッチ機能をマウスの代わりに使用できます。ジェスチャ設定と Windows ソフトウェア アプリケーションの関係を以下に示します。

指での操作	Windows 7	Windows Vista	Windows XP
ドラッグ	可	可	可
クリック	可	可	可
ダブルクリック	可	可	可
シングルタッチ デジタイザ	可	可	不可
マルチタッチ デジタイザ	可	不可	不可

タッチ スクリーン対応アプリケーションでは、指または付属のスタイラスを使用します。

 **注記:** USB ケーブルを接続しなおした場合、またはコンピューターがスリープ モード (サスペンド モード) から復帰した場合、タッチ機能を使用できるようになるまで約 7 秒かかります。

ファームウェアのアップグレード

お使いのシステムで最新のテクノロジーを利用できるようにするため、HP ではファームウェアのアップグレードを提供しています。タッチ スクリーンに問題が発生したら、ファームウェアをアップグレードしてみてください。

 **注記:** 使用しているオペレーティング システムによっては、HP のタッチ コントローラー用ファームウェアのアップグレードが制限されていることがあります。

 **注意:** ファームウェアのアップグレード中は、絶対に[USB Downloader] (USB ダウンローダー) プログラムを終了したり、システムの電源を切ったりしないでください。ファームウェアのアップグレード中に電源が切断された場合は、システムを再起動した後、以下の操作を行ってファームウェアのダウンロードからやり直してください。

ファームウェアをアップグレードするには、以下の操作を行います。

1. HP の Web サイト <http://www.hp.com/support/> にアクセスします。
2. 地域を選択します。
3. **[ドライバー & ソフトウェア ダウンロード]** を選択し、ディスプレイのモデル番号（HP LD4220tm または LD4720tm）を入力します。

 **注意：** 次の手順に進む前に、ディスプレイとメディア プレーヤー/コンピューターがタッチ USB ケーブルで接続されていることを確認してください。ファームウェアのアップグレードを実行するには、USB ケーブルが必要です。

4. 初期設定のソフトウェア ドライバー言語の選択に同意し、使用しているオペレーティング システムを選択します。
5. **[ファームウェア]** を選択し、画面の説明に沿って操作します。
6. **[F/W Update Finished]**（ファームウェアのアップデート完了）と書かれたメッセージ ボックスが表示されたら、**[OK]** をクリックします。

 **注記：** ファームウェアのアップグレードが完了してからタッチ スクリーン機能が使用できるようになるまで、7~10 秒ほどかかります。この待機時間は、お使いのメディア プレーヤー/コンピューターによって異なる場合があります。

6 複数ディスプレイのタッチ スクリーンのセットアップ

複数ディスプレイのタッチ スクリーンをセットアップすると、1 台のメディア プレーヤー/コンピュータに最大で 4 台のディスプレイを接続してタッチ スクリーンを有効にできます。

 **注記：** 複数ディスプレイのタッチ スクリーンのセットアップは、Microsoft Windows 7 (Home Premium 以上) でのみ使用できます。他のオペレーティング システムではサポートされていません。

1. Windows の[スタート]ボタンをクリックし、[コントロール パネル]を選択します。
2. [ハードウェアとサウンド]を選択します。
3. [Tablet PC 設定]を選択します。
4. [構成]の[ディスプレイ]タブで[セットアップ]を実行します。
5. [ペンまたはタッチ入力画面の指定]ウィンドウで[タッチ入力]を選択します。
6. 画面 1 にタッチし、画面 1 をディスプレイに合わせます。Enter キーを押して次の画面に移動します。
7. 追加する画面ごとに手順 6 を繰り返します。

複数の画面をサポートするため、以下のグラフィックス カードを使用することをおすすめします。

- ATI Radeon HD 5450
- NVIDIA GeForce GT320
- NVIDIA GeForce 315
- NVIDIA GeForce G210
- ATI Radeon HD 4350
- NVIDIA GeForce G100
- ATI Radeon HD 4650
- NVIDIA GeForce 9300 GE
- NVIDIA Quadro NVS 450*

*DisplayPort-HDMI アダプターを別途購入する必要があります。

7 [HP Media Sign Player]の使用

USB 記憶装置をディスプレイの背面にある USB コネクタに挿入するときに **[Lock System]** (システムロック) オプションが **[ON]** (オン) になっていると、**[Enter Password]** (パスワードを入力) ダイアログ ボックスが表示されます。パスワードを入力すると、[HP Media Sign Player]のオプションが、**[Photo List]** (写真リスト)、**[Music List]** (音楽リスト)、および**[Movie List]** (ムービーリスト) とともに表示されます。

ディスプレイの電源を入れたときに USB 記憶装置がすでに挿入されている場合は、リモコンの USB ボタンを押します。**[Lock System]** オプションが **[ON]** になっていると、**[Enter Password]** ダイアログ ボックスが **[USB]** メニュー オプションとともに表示されます。パスワードを入力すると、**[USB]** オプションを設定または変更できます。

 **注記：** [HP Media Sign Player]が再生されているか、または OSD が有効になっている場合は、リモコンの USB ボタンを押しても **[USB]** メニューは表示されません。

[Photo List] (写真リスト) の使用

[Photo List] オプションを選択したら、ドライブを選択してから、目的の JPG 画像を含むフォルダーを選択します。フォルダー内のファイルの一覧が表示されます。サポートされるファイルが存在しないフォルダーを選択すると、**[No Photo List in this folder.]** (このフォルダーに写真リストがありません) というメッセージが表示されます。ファイルを強調表示し、リモコンの MARK (マーク) ボタンを押すと、再生するファイルをマークできます。ファイルを強調表示し、リスト内の任意のファイルで OK ボタンを押すと、**[Photo selection and menu options]** (写真の選択およびメニュー オプション) リストが表示されます。

[Photo List]の使用に関する情報

- 写真 (*.JPEG) ファイルをサポート
- ベースライン : 15360×8640
- プログレッシブ : 1024×768
- 表示できるのは JPEG ファイルのみで、サポートされていないファイルはビットマップ形式で表示されます。

[Photo selection and menu options]

- **View** (見る) : [HP Media Sign Player]を開始します。[Photo List]および[Option] (オプション) ボックスで選択した最初の画像が表示されます。この画像は、[Option]ボックスで[Slideshow] (スライドショー) を選択するまで表示されたままです。
- **[Mark All]** (全てを指定する) : [Photo List]で選択したフォルダー内のすべてのファイルをマークまたは選択します。
- **[Delete]** (削除) : USB 記憶装置の選択したフォルダー内にあるマークまたは選択されたすべてのファイルを削除します。[Delete]を選択すると、ファイルの削除を確認するダイアログ ボックスが表示されます。
- **[Close]** (閉じる) : [Photo selection and menu options]メニューを閉じます。

フルサイズでの写真表示オプション

- **[Slideshow]** : [HP Media Sign Player]を開始します。マークされているファイルがない場合を除き、マークまたは選択されているファイルのみが再生されてから、選択されているフォルダー内のすべてのファイルが、[Photo List]に表示されている順序で再生されます。スライドショーのすべてのスライドの表示間隔は、[Option]ダイアログ ボックスで設定します。
- **[BGM]** (バックグラウンド ミュージック) : [Photo List]で選択されている画像の表示中に、[HP Media Sign Player]がオーディオ ファイルを再生します。このオプションを選択する前に、[Option]ダイアログ ボックスで[Music Folder for BGM] (BGM用の音楽フォルダー) を選択する必要があります。オーディオ ファイルについては、[51 ページの「\[Music List\] \(音楽リスト\) の使用」](#)を参照してください。
- **[Rotate]** (回転) アイコン  : 回転アイコンを使用すると、スライド ショーの向きを 90°変更できます。回転アイコンに触れるたびに時計回りにスライド ショーが回転します (90°、180°、または 270°)。回転アイコンを使用して画像を回転すると、その画像は、画面全体に表示されるようにサイズ変更されます。縦向き表示 (90°または 270°) 用に作成されていない画像は、回転されたときに、変形して表示されたり、誤った比率で表示されたりすることがあります。
- **[Delete]** : USB 記憶装置からファイルを削除します。ファイルの削除を確認するダイアログ ボックスが表示されます。
- **[Option]** : **[Slide Speed]** (スライドスピード) および**[Music Folder for BGM]**の値を設定します。値を設定するには、下向き矢印▼、上向き矢印▲、左向き矢印◀、または右向き矢印▶ ボタンを使用して、OK ボタンを使用します。OK を押すと、設定が保存されます。BGM の再生中に**[Music Folder]**を変更することはできません。
- **[Hide]** (隠す) : [HP Media Sign Player]の[Option]メニューを非表示にします。[Option]メニューは、オプションが選択されない状態がおよそ 40 秒間続くと自動的に非表示になります。[Option]メニューをもう一度表示するには、リモコンの OK ボタンを押します。

[Music List] (音楽リスト) の使用

[Music List] オプションを選択したら、ドライブを選択してから、目的のオーディオ ファイルを含むフォルダーを選択します。フォルダー内のファイルの一覧が表示されます。サポートされるファイルが存在しないフォルダーを選択すると、[No Music List in this folder.] (このフォルダーに音楽リストがありません) というメッセージが表示されます。ファイルを強調表示し、リモコンの MARK (マーク) ボタンを押すと、再生するファイルをマークできます。リスト内の任意のファイルを強調表示して OK ボタンを押すと、[Music selection and menu options] (音楽の選択およびメニュー オプション) が表示されます。

[Music List] の使用に関する情報

- 音楽 (*.MP3) ファイルをサポート：市販の音楽ファイル (*.MP3) には著作権による制限がかけられていることがあるため、再生できない場合があります。
- ビット レート：32~320 kbps
- サンプリング レート MPEG1 レイヤー 3：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
- 損傷または破損した音楽ファイルは再生されずに、再生時間が 00:00 と表示されます。

[Music selection and menu options]

音楽を再生するときには、リモコンの再生▶、一時停止 II、停止■、巻き戻し◀◀、および早送り▶▶ ボタンも使用できます。

- [Play] (再生)：[HP Media Sign Player]を開始します。[Play]を強調表示して OK を押すと、選択した音楽タイトルが、音楽リストに一覧表示されている順序で再生されます。音楽タイトルを選択しなかった場合は、フォルダー内の全タイトルが、[Music List]に一覧表示されている順序でプレーヤーで再生されます。タイトルの一覧がおよそ 40 秒間画面に表示された後、タイトルの名前および時間を表示した情報ボックスが現れて、スクリーン セーバーのように画面中を動き回ります。タイトルのメニューをもう一度表示するには、リモコンの OK ボタンを押します。
- [Stop Play] (停止) (音楽が再生されている場合)：選択した音楽タイトルの再生を停止します。
- [Play with Photo] (写真と一緒に再生)：画像ファイルを選択し、選択した音楽タイトルと同時に再生できます。[Play with Photo]を強調表示して OK を押すと、最初に選択した音楽タイトルの再生が開始され、[Photo List] (写真リスト) メニューが表示されます。再生する画像ファイルの選択について詳しくは、[49 ページの「\[Photo List\] \(写真リスト\) の使用」](#)を参照してください。画像ファイルを選択すると、[Photo List] オプション ダイアログ ボックスに音楽プレーヤーがアクティブな状態で表示され、[Option] (オプション) を選択すると、[BGM] ウィンドウに音楽フォルダーの名前が表示されます。
- [Mark All] (全てを指定する)：フォルダー内のすべての音楽タイトルをマークします。
- [Delete] (削除)：USB 記憶装置の選択したフォルダー内にあるマークまたは選択されたすべてのファイルを削除します。[Delete]を選択すると、ファイルの削除を確認するダイアログ ボックスが表示されます。
- [Close] (閉じる)：[Music selection and menu options] ポップアップ メニューを閉じます。

[Movie List] (ムービーリスト) の使用

[Movie List]オプションを選択したら、ドライブを選択してから、目的の動画ファイルを含むフォルダーを選択します。フォルダー内のファイルの一覧が表示されます。サポートされるファイルが存在しないフォルダーを選択すると、[No Movie List in this folder.] (このフォルダーに映画リストがありません) というメッセージが表示されます。ファイルを強調表示し、リモコンの MARK (マーク) ボタンを押すと、再生するファイルをマークできます。リスト内の任意のファイルを強調表示して OK ボタンを押すと、[Movie selection and menu options] (ムービーの選択およびメニュー オプション) リストが表示されます。

[Movie List]の使用に関する情報

- ムービー (*.avi) ファイルをサポート
- ビデオ フォーマット : MPEG1、MPEG2、MPEG4 (Microsoft MPEG 4-V2 および V3 はサポートされません)
- オーディオ フォーマット : mpeg、mp3、PCM、Dolby Digital
- サンプリング周波数 : 32~48 khz 以内
- ビット レート : 32~320 kbps
- サブタイトル フォーマット : *.smi、*.srt、*.sub (MicroDVD、SubViewer 2.0)、*.ass、*.ssa、*.txt (DVD Subtitle System)
- 記録されたファイルのビデオおよびオーディオの構造がインターリーブされていない場合、ビデオと音楽のどちらかが出力されます。
- 最大 FPS (1 秒間のフレーム数) は、SD レベルでのみ対応できます。FPS は、解像度によって、25 fps (720×576) または 30 fps (720×480) です。
- 25 fps または 30 fps を超えるファイルは、正しく再生されない場合があります。
- サブタイトルを表示するには、ビデオのファイル名とそのサブタイトルのファイル名が同じである必要があります。
- 高速伝送をサポートしない USB 接続経由でのビデオ再生は、正しく機能しない場合があります。
- USB2.0 より低いバージョンの USB 記憶装置もサポートされていますが、[Movie List]内では正しく機能しない場合があります。
- GMC (Global Motion Compensation) でエンコードされたファイルは再生されない場合があります。

ファイル	ビデオ デコーダー	オーディオ コーデック	最大解像度
拡張子名			
mpg、mpeg、vob、dat	MPEG1、MPEG2	AC3、MPEG、MP3、PCM	720×576 (25 fps)
avi、m4v	MPEG4-SP、MPEG4-ASP、XviD	AC3、MPEG、MP3、PCM	720×480 (30 fps)

[Movie selection and menu options]

- **[Play]** (再生) : 選択したムービーを再生します。
- **[Mark All]** (全てを指定する) : フォルダー内のすべてのムービーを指定します。
- **[Delete]** (削除) : 選択したムービー項目を削除します。
- **[Close]** (閉じる) : ポップアップメニューを閉じます。

表 7-1 ムービーでのリモコンの使用

巻き戻し ◀◀ および 早送り ▶▶ ボタン	ムービーの再生中に巻き戻し ◀◀ ボタンを押すと、押すたびに巻き戻し速度が速くなります (◀◀ (x2) → ◀◀◀◀ (x4) → ◀◀◀◀◀◀ (x8) → ◀◀◀◀◀◀◀◀ (x16) → ◀◀◀◀◀◀◀◀◀◀◀ (x32))。早送り ▶▶ ボタンを押すと、押すたびに早送り速度が速くなります (▶▶ (x2) → ▶▶▶▶ (x4) → ▶▶▶▶▶▶ (x8) → ▶▶▶▶▶▶▶▶ (x16) → ▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶ (x32))
一時停止 II ボタン	再生中に一時停止 II ボタンを押すと、静止画面が表示されます。一時停止 II ボタンを押してから早送り ▶▶ ボタンを使用すると、スロー再生になります。一時停止後に 10 分間リモコンのボタンを押さないと、再生状態に戻ります
左向き矢印 ◀ および 右向き矢印 ▶ ボタン	再生中に左向き矢印 ◀ または 右向き矢印 ▶ ボタンを使用すると、再生位置を示すカーソルを画面に表示できます
再生 ▶ ボタン	再生 ▶ ボタンを押すと、通常の再生に戻ります
ENERGY SAVING (省エネモード) ボタン	ENERGY SAVING ボタンを押すたびに、画面の輝度が変わります

A トラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

トラブル	考えられる原因	解決方法
画像が表示されない	電源コードが接続されていない	電源コードがコンセントに正しく接続されていることを確認します <ul style="list-style-type: none">コンセントから電気が供給されていることを確認しますヒューズまたはブレーカーが切れたり焼けたりしていないことを確認します 電源がオンになっているかどうかを確認します サービスが必要になることもあります
電源がオンになっていて、電源ランプも青色に点灯しているが、画面の表示が非常に暗い	画面を調整する必要がある	輝度およびコントラストを調節しなおします バックライトの修理が必要なこともあります
電源ランプがオレンジ色に点灯している	ディスプレイが省電力モードになっている	マウスを動かすか、キーボードの任意のキーを押します 機器の電源を切って、入れなおします
[Out of Range] (表示範囲を超えています) というメッセージが表示される	入力信号が周波数範囲外である	メディア プレーヤー/コンピューター (ビデオ カード) からの信号がディスプレイの垂直周波数範囲または水平周波数範囲外にあります。このガイドに記載されている仕様を参照して、周波数範囲を調整します (最大解像度: RGB の場合は 1920×1080 (60 Hz)、 HDMI の場合は 1920×1080 (60 Hz)、 DisplayPort の場合は 1920×1080 (60 Hz)) 注記: 垂直周波数範囲: ディスプレイを見ることができるようにするには、蛍光ランプと同様に、画像を毎秒複数回変化させる必要があります。垂直周波数 (またはリフレッシュ レート) は、1 秒間に画像が表示される回数を表します。単位は Hz で示されます 水平周波数: 水平間隔は、1 本の水平線を表示する時間です。1 を水平間隔で割ると、1 秒間に表示される水平線の数が水平周波数として表されます。単位は kHz で示されます
[Check signal cable] (シグナルケーブルをチェック) というメッセージが表示される	ビデオ ケーブルが接続されていない	メディア プレーヤー/コンピューターとディスプレイが信号ケーブルで接続されていません 信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します リモコンの INPUT (入力) ボタンを押して入力信号を確認します

トラブル	考えられる原因	解決方法
ディスプレイを接続すると、 [Unknown Product] (不明な製品) というメッセージが表示される	ディスプレイドライバーがインストールされていない	ディスプレイ ドライバーをインストールします。ドライバーは、ディスプレイに付属しているか、または HP の Web サイト、 http://www.hp.com/ (英語サイト) からダウンロードします ビデオ カードの説明書を参照して、プラグ アンド プレイ機能がサポートされているかどうかを確認します
MENU (メニュー) ボタンを押すと、 [Key Lock On] (キーロック中) というメッセージが表示される	キー ロック機能がオンになっている	コントロール ロック機能は、OSD 設定を間違えて変更しないようにするためのものです。この制御を解除するには、MENU ボタンと右向き矢印▶ ボタンを数秒程度、同時に押したままにします (リモコンのボタンを使用してこの機能を設定することはできません。この機能はディスプレイでのみ設定できます)
画面表示がおかしい、または画面の位置が正しくない	画面が調整されていない	D-Sub アナログ信号：リモコンの AUTO (自動) ボタンを押すと、現在のモードに合った最適な画面状態が自動的に選択されます ビデオ カードの解像度および周波数がディスプレイによってサポートされていることを確認します。周波数が範囲外になっている場合は、オペレーティング システムで [コントロール パネル]→[画面]→[設定] の順に選択して、推奨される解像度を設定します
背景画面に線が表示される	画面が調整されていない	D-Sub アナログ信号：リモコンの AUTO (自動) ボタンを押すと、現在のモードに合った最適な画面状態が自動的に選択されます
水平ノイズが表示される、または文字が不鮮明になっている	画面が調整されていない	D-Sub アナログ信号：リモコンの AUTO (自動) ボタンを押すと、現在のモードに合った最適な画面状態が自動的に選択されます
画面表示がおかしい	間違った入力信号を使用している	正しい入力信号が信号コネクタに接続されていません。ソース入力信号に合った信号ケーブルを接続します
ディスプレイの電源をオフにしたときに残像が表示される	固定画像を長い時間使用している	固定画像を長時間使用すると、ピクセルが欠損することがあります。スクリーンセーバー機能を使用するか、または OSD メニューを [ISM Method] (残像防止機能) に設定します
音が出ない	オーディオケーブルが接続されていない	オーディオ ケーブルが正しく接続されていることを確認します 音量を調整します サウンドが正しく設定されているかどうかを確認します
音がこもる	イコライザーのバランスがよくない	適切なイコライザー設定を選択します
音が小さすぎる	音の調整が必要である	リモコンの音量ボタンを押して、音量を調整します
画面の色解像度が低い (16 色)	色が正しく設定されていない	色数を 24 ビット (True Color) 以上に設定します。オペレーティング システムで [コントロール パネル]→[画面]→[設定]→[画面の色] の順に選択します
画面の色が不安定または白黒になる	ビデオ ケーブルまたはビデオカードの接続がゆるくなっている	ビデオ ケーブルの接続状態を確認するか、メディア プレーヤー/コンピューターのビデオ カードを挿入しなおします

トラブル	考えられる原因	解決方法
画面に黒い点が表示される	黒い点は LCD パネルの特性である	複数のピクセル（赤、緑、白または黒色）が画面に表示されることがありますが、これは LCD パネルに固有の特性によるものです。LCD の誤動作ではありません
電源が突然オフになる	スリープ タイマー設定がオンになっているか、電源が壊れている	スリープ タイマーが設定されていることを確認します 電源コントロール設定を確認します
タッチ機能が Windows XP で認識されない	Windows XP のドライバーがインストールされていない	Windows XP でタッチ機能を使用するには、ドライバーをインストールする必要があります。詳しくは、 43 ページの「タッチ スクリーン用ソフトウェアのインストール (Microsoft Windows XP)」 を参照してください
タッチ ディスプレイが正常に動作しない	ファームウェアをアップグレードする必要がある	ファームウェアをアップグレードします。詳しくは、 46 ページの「ファームウェアのアップグレード」 を参照してください

インターネットの使用

テクニカル サポート情報、ユーザー自身によるトラブル解決に役立つツール、オンライン サポート、IT 専門家のコミュニティ フォーラム、マルチ ベンダーによる広範囲の知識ベース、監視および診断用ツールについては、<http://www.hp.com/support/>にアクセスして参照してください。

お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目やオンラインの技術サポートを参照しても問題が解決しない場合は、テクニカル サポートも利用できます。HP のサポート窓口にお問い合わせください。テクニカル サポートをご利用になる際に、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- ディスプレイのモデル番号
- ディスプレイのシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの種類

B 技術仕様

 **注記：** すべての動作仕様はコンポーネントの製造元から提供されています。動作仕様とは、HP のコンポーネントの製造元すべての、通常のレベルの動作仕様のうち最も高い仕様を表します。このため、実際の動作レベルとは異なる場合があります。

HP デジタル サイネージ ディスプレイ

表 B-1 仕様

		LD4220tm	LD4720tm
ディスプレイ	サイズ	106.7 cm	119.3 cm
	タイプ	TFT LCD パネル	TFT LCD パネル
表示可能画像サイズ		対角長 106.7 cm	対角長 119.3 cm
ピクセル ピッチ		0.4845×0.4845 mm X RGB	0.5415×0.5415 mm X RGB
質量 (最大)	スタンドおよびスピーカーを除く	25.9 kg	32.4 kg
	スピーカーを含む	26.6 kg	33.1 kg
	スタンドを含む	27.1 kg	33.8 kg
	スタンドおよびスピーカーを含む	27.9 kg	34.5 kg
外形寸法 (横×縦×奥行き)	スタンドおよびスピーカーを除く	974.2×563.8×132.5 mm	1082.2×628.6×132.2 mm
	スピーカーを含む	974.2×563.8×132.5 mm	1082.2×628.6×138.4 mm
	スタンドを含む	974.2×637.0×258.6 mm	1082.2×702.0×298.3 mm
	スタンドおよびスピーカーを含む	974.2×637.0×258.6 mm	1082.2×702.0×298.3 mm
電源	定格電圧	AC100~240 V、50/60 Hz 2.5 A 日本 : AC100 V、50/60 Hz 2.5 A	AC100~240 V、50/60 Hz 3.0 A 日本 : AC100 V、50/60 Hz 3.0 A
消費電力	オン モード	220 W (通常)	270 W (通常)
	スリープ モード	1 W 以下 (RGB) / 2 W (HDMI/DVI) 1 W 以下 (RGB) / 2 W (DisplayPort) ([LAN OFF] (LAN オフ) が選択されている場合)	1 W 以下 (RGB) / 2 W (HDMI/DVI) 1 W 以下 (RGB) / 2 W (DisplayPort) ([LAN OFF] が選択されている場合)

表 B-1 仕様 (続き)

		LD4220tm	LD4720tm
解像度 (最大)	RGB	1920×1080 (60 Hz)	1920×1080 (60 Hz)
	HDMI/DVI	1920×1080 (60 Hz) (OS またはビデオ カード タイプがサポートしている場合)	1920×1080 (60 Hz) (OS またはビデオ カード タイプがサポートしている場合)
	DisplayPort	1920×1080 (60 Hz) (OS またはビデオ カード タイプがサポートしている場合)	1920×1080 (60 Hz) (OS またはビデオ カード タイプがサポートしている場合)
解像度 (推奨)	RGB	1920×1080 (60 Hz)	1920×1080 (60 Hz)
	HDMI/DVI	1920×1080 (60 Hz) (OS またはビデオ カード タイプがサポートしている場合)	1920×1080 (60 Hz) (OS またはビデオ カード タイプがサポートしている場合)
	DisplayPort	1920×1080 (60 Hz) (OS またはビデオ カード タイプがサポートしている場合)	1920×1080 (60 Hz) (OS またはビデオ カード タイプがサポートしている場合)
水平周波数	RGB	30~83 kHz	30~83 kHz
	HDMI/DVI	30~83 kHz	30~83 kHz
	DisplayPort	30~83 kHz	30~83 kHz
垂直周波数	RGB	56~75 Hz	56~75 Hz
	HDMI/DVI	56~60 Hz	56~60 Hz
	DisplayPort	56~60 Hz	56~60 Hz
同期タイプ		セパレート/デジタル	セパレート/デジタル
入力コネクタ		15 ピン D-Sub タイプ、HDMI/DVI (デジタル)、RS-232C、DisplayPort、USB、LAN	15 ピン D-Sub タイプ、HDMI/DVI (デジタル)、RS-232C、DisplayPort、USB、LAN
環境条件	動作温度	0°~35°C 湿度 10~80%	0°~35°C 湿度 10~80%
	保管温度	-20~60°C 湿度 20~80%	-20~60°C 湿度 20~80%
オーディオ (一部のモデルのみ)	RMS オーディオ出力	10 W + 10 W (R + L)	10 W + 10 W (R + L)
	入力感度	0.7 Vrms	0.7 Vrms
	スピーカー インピーダンス	8 オーム	8 オーム

HP LD4220tm の寸法 (別売のスタンドおよびスピーカーを含む)

図 B-1 HP LD4220tm : 正面図および側面図

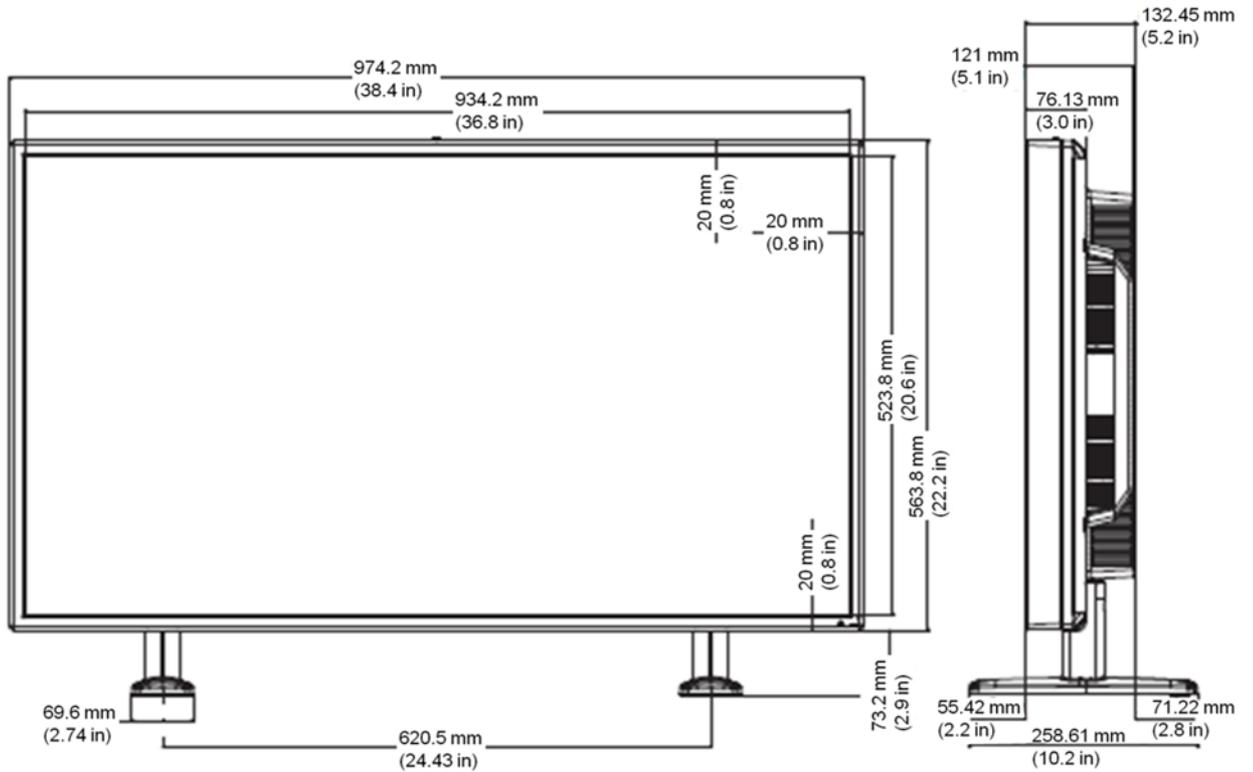
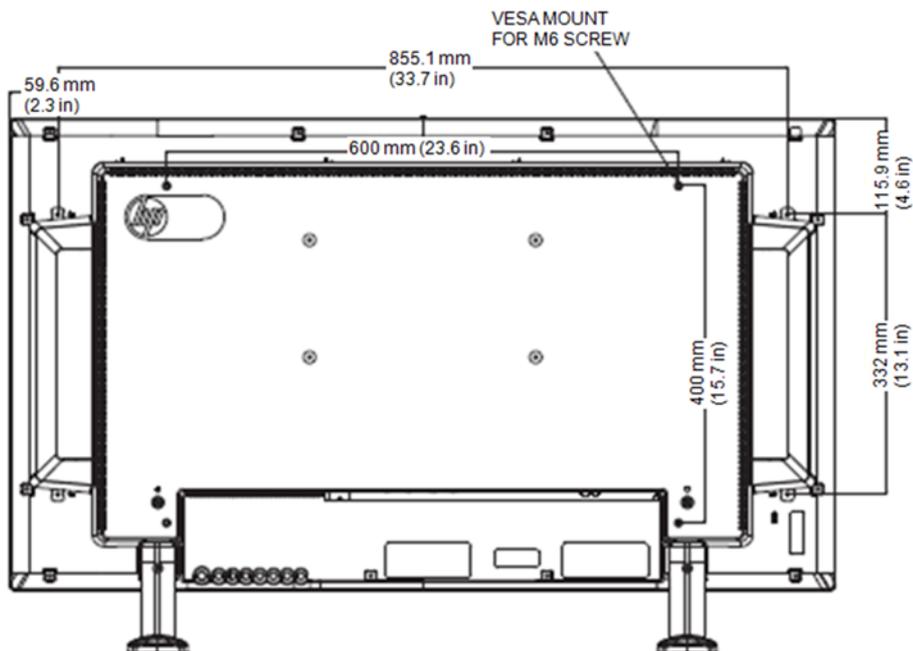


図 B-2 HP LD4220tm : 背面図



HP LD4720tm の寸法 (別売のスタンドおよびスピーカーを含む)

図 B-3 HP LD4720tm : 正面図および側面図

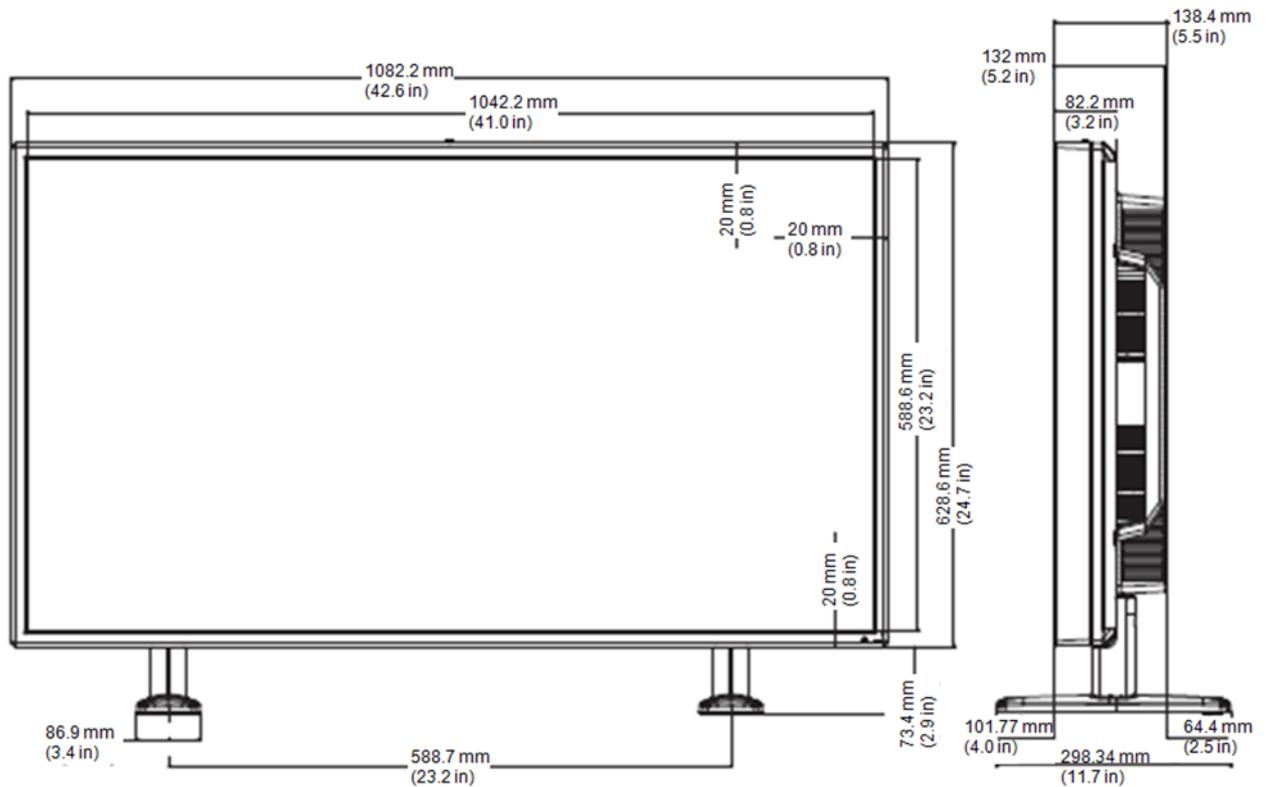
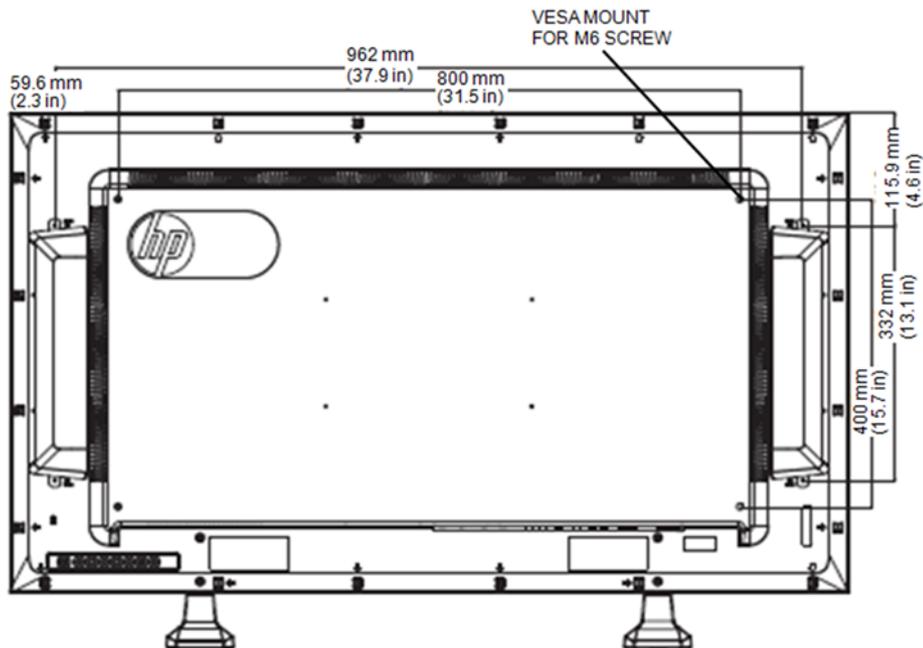


図 B-4 HP LD4720tm : 背面図



プリセット ディスプレイ解像度について

以下の表に示すディスプレイ解像度はこのディスプレイで使用される最も標準的なもので、初期設定として設定されています。ディスプレイによってこれらのプリセット モードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

プリセット表示モード

表 B-2 工場出荷時プリセット表示モード

プリセット	ピクセル フォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	720×400	31.468	70.1
*2	640×480	31.469	59.94
3	640×480	37.5	75
*4	800×600	37.879	60.317
5	800×600	46.875	75
6	832×624	49.725	74.55
*7	1024×768	48.363	60
8	1024×768	60.123	75.029
*9	1280×720	44.772	59.855
*10	1280×1024	63.981	60.02
11	1280×1024	79.98	75.02
*12	1680×1050	65.290	59.954
*13	1920×1080	67.5	60

1～13 RGB モード
* HDMI/DisplayPort モード

DTV モード

	HDMI/DVI (DTV)	DisplayPort
480i	x	x
480p	o	o
576i	x	x
576p	o	o
720p	o	o
1080i	o	o
1080p	o	o

 **注記：** HDMI/DVI 入力での DTV/PC の選択は、メディア プレーヤー/コンピューターの解像度が 640×480/60 Hz、1280×720/60 Hz、1920×1080/60 Hz、DTV の解像度が 480p、720p、1080p の場合のみ可能です。

電源ランプ

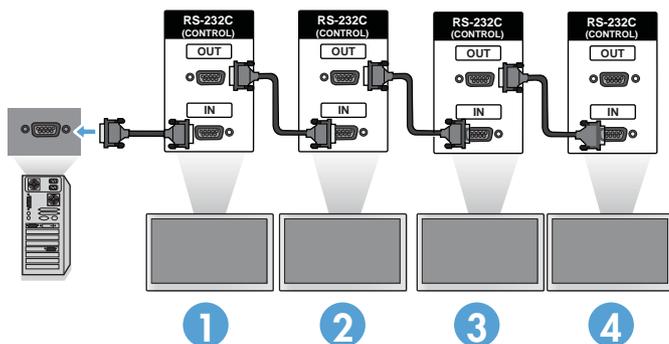
モード	インジケータ ランプ
オン モード	青色
スリープ モード	オレンジ色
オフ モード	-

C コマンド リファレンス

この方法を使用すると、複数のディスプレイを1台のコンピューターに接続できます。複数のディスプレイを1台のコンピューターに接続することで、一度に複数のディスプレイを制御できるようになります。[Option] (オプション) の[Set ID] (セットID) メニューを[OFF] (オフ) にすると、モニターIDの値は1~99に設定されます。

ケーブルの接続

以下の図に示すように、RS-232-C ケーブルを接続します。RS-232-C プロトコルは、メディア プレーヤー/コンピューターとディスプレイとの通信に使用されます。メディア プレーヤー/コンピューターから、ディスプレイの電源のオン/オフを切り替えたり、入力ソースを選択したり、OSD メニューを調整したりできます。



RS-232-C の構成

7本の配線による構成 (標準のRS-232-Cケーブル)				3本の配線による構成 (標準外)			
メディア プレー ヤー/コン ピュー ター		ディスプレイ		メディア プレー ヤー/コン ピュー ター		ディス プレイ	
RXD	2	3	TXD	RXD	2	3	TXD
TXD	3	2	RXD	TXD	3	2	RXD
GND	5	5	GND	GND	5	5	GND
DTR	4	6	DSR	DTR	4	6	DSR

7本の配線による構成 (標準のRS-232-Cケーブル)				3本の配線による構成 (標準外)			
DSR	6	■————■	4	DTR	DSR	6	4 DTR
RTS	7	■————■	8	CTS	RTS	7	7 CTS
CTS	8	■————■	7	RTS	CTS	8	8 RTS
D-Sub 9		D-Sub 9		D-Sub 9		D-Sub 9	
(メス)		(メス)		(メス)		(メス)	

通信パラメーター

- ボーレート : 9600 ボーレート (UART)
- データ長 : 8 ビット
- パリティ ビット : なし
- ストップ ビット : 1 ビット
- フロー制御 : なし
- 通信コード : ASCII コード
- クロス (リバース) ケーブルを使用

コマンド参照リスト

	コマンド 1	コマンド 2	データ 1	データ 2	データ 3
01. 電源	k	a	00H~01H		
02. 入力選択	k	b	07H~0BH		
03. 画面サイズ	k	c	01H~1FH		
04. 画面ミュート	k	d	00H~01H		
05. 音量ミュート	k	e	00H~01H		
06. 音量調整	k	f	00H~64H		
07. コントラスト	k	g	00H~64H		
08. 明るさ	k	h	00H~64H		
09. カラー	k	i	00H~64H		
10. 色合い	k	j	00H~64H		
11. シャープネス	k	k	00H~64H		
12. OSD 選択	k	l	00H~01H		
13. リモート ロック/キーロック	k	m	00H~01H		
14. バランス	k	t	00H~64H		

	コマンド1	コマンド2	データ1	データ2	データ3
15. 自動色温度	k	u	00H~02H		
16. 異常な状態	k	z	FFH		
17. 残像防止機能	j	p	01H~08H		
18. 自動画面調整	j	u	01H		
19. キー	m	c	キー コード		
20. タイルモード	d	d	00H~55H		
21. タイル水平表示位置	d	e	00H~14H		
22. タイル垂直表示位置	d	f	00H~14H		
23. タイル水平サイズ	d	g	00H~64H		
24. タイル垂直サイズ	d	h	00H~64H		
25. タイル ID 設定	d	i	00H~19H		
26. ナチュラル (タイルモード)	d	j	00H~01H		
27. 映像モード (PSM)	d	x	00H~06H		
28. オーディオモード	d	y	01H~05H		
29. ファン障害チェック	d	w	FFH		
30. 経過時間を返す	d	l	FFH		
31. 温度値	d	n	FFH		
32. ランプ障害チェック	d	p	FFH		
33. 自動ボリューム	d	u	00H~01H		
34. スピーカー	d	v	00H~01H		
35. 時間	f	a	00H~06H	00H~17H	00H~3BH
36. オンタイマー (オン/オフタイマー) タイム	f	d	F1H~F4H E0H~E4H 01H~80H	00H~17H	00H~3BH
37. オフタイマー (オン/オフ タイマー) タイム	f	e	F1H~F4H E0H~E4H 01H~80H	00H~17H	00H~3BH
38. 入力選択のスケジュール設定	f	u	F1H~F4H	07H~0BH	
39. スリープタイマー	f	f	00H~08H		
40. Auto Off (自動電源オフ)	f	g	00H~01H		
41. パワーオンディレイ	f	h	00H~64H		
42. 言語	f	i	00H~09H		
43. 節電モード	f	j	00H~01H		

	コマンド 1	コマンド 2	データ 1	データ 2	データ 3
44. リセット	f	k	00H~02H		
45. 省エネモード	f	l	00H~03H		
46. 電源ランプ	f	o	00H~01H		
47. シリアル No.	f	y	FFH		
48. ソフトウェア バージョン	f	z	FFH		
49. 入力選択	x	b	60H~C0H		

送信/受信プロトコル

送信

```
[コマンド 1][コマンド 2][セット ID][データ][Cr]
```

*[コマンド 1]	1 番目のコマンド (k、j、m、d、f、x)
*[コマンド 2]	2 番目のコマンド (a~z)
*[セット ID]	ディスプレイのセット ID を設定します。範囲 : 01H~63H。「0」に設定すると、サーバーはすべてのディスプレイを制御できます セット ID を「0」として使用して同時に 3 つ以上のセットを動作させた場合、確認応答メッセージを確認する必要はありません。すべてのセットが確認応答メッセージを送信するため、すべての確認応答メッセージを確認することはできません
*[データ]	コマンド データを送信します 「FF」 データを送信してコマンドのステータスを読み取ります
*[Cr]	キャリッジ リターン ASCII コード 「0x0 D」
*[]	ASCII コード スペース (0x20)

OK 確認応答

```
[コマンド 2][セット ID][OK][データ][x]
```

*通常のデータを受信した場合、ディスプレイはこの形式に従って ACK（確認応答）を送信します。この段階では、データがデータ読み取りモードの場合、そのデータは現在のステータス データを表します。データがデータ書き込みモードの場合、そのデータはメディア プレーヤー/コンピューターのデータを返します。

エラー確認応答

[コマンド 2][][セット ID][][NG][データ][x]

エラーがある場合に NG を返します。

01. 電源（コマンド : a）

セットの電源オン/オフを制御します。

送信

[k][a][][セット ID][][データ][Cr]

[データ] 0 : 電源切断
 1 : 電源投入

確認応答

[a][][セット ID][][OK][データ][x]

電源オン/オフのステータスを表示します。

送信

[k][a][][セット ID][][FF][Cr]

確認応答

[a][][セット ID][][OK][データ][x]

[データ] 0 : 電源切断
 1 : 電源投入

02. 入力選択（コマンド : b）（メイン画像入力）

セットの入カソースを選択します。

リモコンの INPUT（入力）ボタンを使用して入力ソースを選択することもできます。

送信

[k][b][][セット ID][][データ][Cr]

[データ] 7 : RGB (PC)
 8: HDMI/DVI (HD-DVD)
 9 : HDMI (PC)
 A : DisplayPort (HD-DVD)
 B : DisplayPort (PC)

確認応答

[b][][セット ID][][OK][データ][x]

[データ] 7 : RGB (PC)
 8: HDMI/DVI (HD-DVD)
 9 : HDMI (PC)
 A : DisplayPort (HD-DVD)
 B : DisplayPort (PC)

03. 画面サイズ (コマンド : c) (メイン画像形式)

画像形式を調整します。

リモコンまたは[Screen] (スクリーン) メニューで[ARC (Aspect Ratio Control)] (ARC (縦横比制御)) ボタンを使用して画面形式を調整することもできます。

送信

[k][c][][セット ID][][データ][Cr]

[データ]	1 : 通常の画面 (4:3)
	2 : ワイド スクリーン (16:9)
	4 : ズーム[HDMI (HD-DVD)、DisplayPort (HD-DVD)]
	6 : オリジナル
	7 : 14:9[HDMI (HD-DVD)、DisplayPort (HD-DVD)]
	9 : ジャストスキャン[HDMI (HD-DVD)、DisplayPort (HD-DVD)]
	RGB、HDMI/DVI-PC、DisplayPort-PC モード (1:1) の場合
	10~1F : シネマ ズーム 1~16[HDMI (HD-DVD)、DisplayPort (HD-DVD)]

確認応答

[c][][セット ID][][OK][データ][x]

04. 画面ミュート (コマンド : d)

画面ミュートのオン/オフを選択します。

送信

[k][d][][セット ID][][データ][Cr]

[データ]	0 : 画面ミュート オフ (画像オン)
	1 : 画面ミュート オン (画像オフ)

確認応答

[d][][セット ID][][OK][データ][x]

05. 音量ミュート (コマンド : e)

音量ミュートのオン/オフを制御します。

送信

[k][e][][セット ID][][データ][Cr]

[データ] 0 : 音量ミュート オン (音量オフ)
 1 : 音量ミュート オフ (音量オン)

確認応答

[e] [セット ID] [OK] [データ] [x]

[データ] 0 : 音量ミュート オン (音量オフ)
 1 : 音量ミュート オフ (音量オン)

06. 音量調整 (コマンド : f)

音量を調整します。

送信

[k][f] [セット ID] [データ] [Cr]

[データ] 最小 : 00H ~ 最大 : 64H
 (16 進コード)

確認応答

[f] [セット ID] [OK] [データ] [x]

[データ] 最小 : 00H ~ 最大 : 64H

実データのマッピング	0 : ステップ 0
	:
	A : ステップ 10
	:
	F : ステップ 15
	10 : ステップ 16
	:
	64 : ステップ 100

07. コントラスト (コマンド : g)

画面のコントラストを調整します。[Picture] (映像) メニューでコントラストを調整することもできます。

送信

```
[k][g][ ][セット ID][ ][データ][Cr]
```

```
[データ] 最小 : 00H~最大 : 64H
```

確認応答

```
[g][ ][セット ID][ ][OK][データ][x]
```

実データのマッピング	0 : ステップ 0
	:
	A : ステップ 10
	:
	F : ステップ 15
	10 : ステップ 16
	:
	64 : ステップ 100

08. 明るさ (コマンド : h)

画面の輝度を調整します。[Picture] (映像) メニューで輝度を調整することもできます。

送信

```
[k][h][ ][セット ID][ ][データ][Cr]
```

```
[データ] 最小 : 00H~最大 : 64H
```

以下に示す「実データのマッピング」を参照してください。

確認応答

```
[h][ ][セット ID][ ][OK][データ][x]
```

実データのマッピング	0 : ステップ 0
	:
	A : ステップ 10
	:
	F : ステップ 15
	10 : ステップ 16
	:
	64 : ステップ 100

09. カラー（コマンド : i）（ビデオ タイミングのみ）

画面の色を調整します。[Picture]（映像）メニューで色を調整することもできます。

送信

[k][i] [セット ID][[データ][Cr]

[データ] 最小 : 00H~最大 : 64H
(16 進コード)

実データのマッピング	0 : ステップ 0
	:
	A : ステップ 10
	:
	F : ステップ 15
	10 : ステップ 16
	:
	64 : ステップ 100

確認応答

[i] [セット ID][[OK][データ][x]

[データ] 最小 : 00H~最大 : 64H
(16 進コード)

10. 色合い (コマンド:j) (ビデオ タイミングのみ)

画面の色合いを調整します。[Picture] (映像) メニューで色合いを調整することもできます。

送信

```
[k][ ][セットID][ ][データ][Cr]
```

```
[データ] 赤: 00H~緑: 64H  
(16進コード)
```

実データのマッピング	0: ステップ 0
	:
	A: ステップ 10
	:
	F: ステップ 15
	10: ステップ 16
	:
	64: ステップ 100

確認応答

```
[ ][ ][セットID][ ][OK][データ][x]
```

```
[データ] 赤: 00H~緑: 64H
```

色合いの実データのマッピング	0: ステップ 0: 赤
	:
	64: ステップ 100: 緑

11. シャープネス (コマンド:k) (ビデオ タイミングのみ)

画面のシャープネスを調整します。[Picture] (映像) メニューでシャープネスを調整することもできます。

送信

[K][k][][セット ID][][データ][Cr]

[データ] 最小 : 00H~最大 : 64H
 (16 進コード)

実データのマッピング	0 : ステップ 0
	:
	A : ステップ 10
	:
	F : ステップ 15
	10 : ステップ 16
	:
	64 : ステップ 100

確認応答

[k][][セット ID][][OK][データ][x]

[データ] 最小 : 00H~最大 : 64H

12. OSD 選択 (コマンド : I)

セットの OSD オン/オフを制御します。

送信

[K][][セット ID][][データ][Cr]

[データ] 0 : OSD オフ
 1 : OSD オン

確認応答

[][セット ID][][OK][データ][x]

[データ]	0 : OSD オフ
	1 : OSD オン

13. リモート ロック/キー ロック (コマンド : m)

セットのリモート ロックのオン/オフを制御します。

RS-232C を制御している場合、この機能によってリモコンおよびローカル キーがロックされます。

送信

```
[k][m][ ][セット ID][ ][データ][Cr]
```

[データ]	0 : オフ
	1 : オン

確認応答

```
[m][ ][セット ID][ ][OK][データ][x]
```

[データ]	0 : オフ
	1 : オン

14. バランス (コマンド : t)

サウンドのバランスを調整します。

送信

```
[k][t][ ][セット ID][ ][データ][Cr]
```

[データ]	最小 : 00H~最大 : 64H
	(16 進コード)

00H : ステップ L50

64H : ステップ R50

確認応答

[K] [セット ID] [OK][データ][x]

[データ] 最小 : 00H~最大 : 64H

00H : ステップ 0 : L50

64H : ステップ 100 : R50

バランス : L50~R50

15. 自動色温度 (コマンド : u)

画面の色温度を調整します。

送信

[K][u] [セット ID] [データ][Cr]

[データ] 0 : 中間色

1 : 冷色

2 : 暖色

確認応答

[u] [セット ID] [OK][データ][x]

[データ] 0 : 中間色

1 : 冷色

2 : 暖色

16. 異常な状態 (コマンド : z)

異常な状態 : スタンバイ モードのときに電源オフ状態を読み込むために使用します。

送信

[K][z] [セット ID] [データ][Cr]

[データ] FF : 読み込み

確認応答

[z][セットID][OK][データ][x]

[データ] 0: 通常 (電源オン、信号あり)

1: 信号なし (電源オン)

2: リモコンでディスプレイをオフにします

3: 電源オフの時刻設定でディスプレイをオフにします

4: RS-232-C の機能でディスプレイをオフにします

8: オフタイマー機能でディスプレイをオフにします

9: 自動オフ機能でディスプレイをオフにします

17. 残像防止機能 (コマンド : j p)

残像を防止する機能を選択する場合に使用します。

送信

[p][セットID][データ][Cr]

[データ] 1H: 階調反転

2H: オービター

4H: ホワイトウォッシュ

8H: ノーマル

確認応答

[p][セットID][OK][データ][x]

18. 自動画面調整 (コマンド : j u)

画像の位置を調整し、画像のぶれを自動的に最小限に抑えます。この機能は RGB (PC) モードの場合にのみ利用できます。

送信

[u][セットID][データ][Cr]

[データ] 1: 設定します

確認応答

[u][セットID][OK][データ][x]

19. キー (コマンド : m c)

赤外線リモート キー コードを送信します。

送信

[m][c][セットID][データ][Cr]

データ キーのコード : [96 ページの「赤外線コード表」](#)を参照してください。

確認応答

[c][セットID][OK][データ][x]

20. タイルモード (コマンド : d d)

[Tile Mode] (タイルモード) を変更します。

送信

[d][d][セットID][データ][x]

[データ]	説明
-------	----

00 または 11	[Tile Mode]はオフ
--------------	----------------

12	1×2 モード (列×行)
----	---------------

13	1×3 モード
----	---------

14	1×4 モード
----	---------

...	...
-----	-----

55	5×5 モード
----	---------

[データ]は、00 を除き、0X または X0 には設定できません。

確認応答

[d][00][OK/NG][データ][x]

21. タイルの水平表示位置（コマンド : d e）

水平表示位置を設定します。

送信

[d][e][セット ID][データ][x]

[データ] 最小 : 00H～最大 : 14H

00H : ステップ-10（左）

14H : ステップ 10（右）

確認応答

[e][セット ID][OK/NG][データ][x]

22. タイルの垂直表示位置（コマンド : d f）

垂直表示位置を設定します。

送信

[d][f][セット ID][データ][x]

[データ] 最小 : 00H～最大 : 14H

00H : ステップ-10（左）

14H : ステップ 10（右）

確認応答

[f][セット ID][OK/NG][データ][x]

23. タイルの水平サイズ（コマンド : d g）

水平サイズを設定します。

送信

[d][g][セット ID][データ][x]

[データ] 最小 : 00H~最大 : 64H

実データのマッピング	0 : ステップ 0
	:
	A : ステップ 10
	:
	F : ステップ 15
	10 : ステップ 16
	:
	64 : ステップ 100

確認応答

[g][セット ID][OK/NG][データ][x]

24. タイルの垂直サイズ (コマンド : d h)

垂直サイズを設定します。

送信

[d][h][セット ID][データ][x]

[データ] 最小 : 00H~最大 : 64H

実データのマッピング	0 : ステップ 0
	:
	A : ステップ 10
	:
	F : ステップ 15
	10 : ステップ 16
	:
	64 : ステップ 100

確認応答

[h][セット ID][OK/NG][データ][x]

25. タイル ID の設定 (コマンド : d i)

タイル機能用のタイル ID を割り当てます。

送信

[d][セット ID][データ][x]

[データ] 最小 : 00H ~ 最大 : 19H
(16 進コード)

確認応答

[][セット ID][OK/NG][データ][x]

26. ナチュラル (タイルモード) (コマンド : d j)

タイル機能用のタイル ナチュラル モードを割り当てます。

送信

[d][セット ID][データ][x]

[データ]	0 : ナチュラルのオフ
	1 : ナチュラルのオン
	ff : 読み取りステータス

確認応答

[j][セット ID][OK/NG][データ][x]

27. 映像モード (コマンド : d x)

映像モードを調整します。

送信

[d][x][セット ID][データ][x]

データ構造

データ (16 モード
進数)

00	鮮明
01	スタンダード
02	シネマ
03	スポーツ
04	ゲーム
05	ユーザー 1
06	ユーザー 2

確認応答

[x][セット ID][OK/NG][データ][x]

28. オーディオモード (コマンド : d y)

オーディオモードを調整します。

送信

[d][y][セット ID][データ][x]

データ構造

データ (16 進数)	
01	スタンダード
02	音楽
03	映画
04	スポーツ
05	ゲーム

確認応答

[y][セット ID][OK/NG][データ][x]

29. ファン故障チェック (コマンド : d w)

ディスプレイのファンの故障をチェックします。

送信

[d][w][セット ID][データ][x]

[データ] データは常に FF (16 進数) です
データ ff : 読み取りステータス

確認応答

[w][セット ID][OK/NG][データ][x]

[データ] [データ]はファンの故障のステータス値です
0 : ファンは故障
1 : ファンは正常
2 : N/A (該当なし)

30. 経過時間の読み取り (コマンド : d l)

経過時間を読み取ります。

送信

[d][n][セット ID][データ][x]

[データ] データは常に FF (16 進数) です

確認応答

[n][セット ID][OK/NG][データ][x]

[データ] データは経過時間数を意味します (16 進コード)

31. 温度の値 (コマンド : d n)

内部温度の値を読み取ります。

送信

[d][n][セット ID][データ][x]

[データ] データは常に FF (16 進数) です

確認応答

[n][セット ID][OK/NG][データ][x]

[データ] データは 16 進数で 1 バイト長です

32. ランプの故障チェック (コマンド : d p)

ランプの故障をチェックします。

送信

[d][p][セット ID][データ][x]

[データ] データは常に FF (16 進数) です

確認応答

[p][セット ID][OK/NG][データ][x]

[データ] 0 : ランプは故障
1 : ランプは正常
2 : N/A (DPM/電源切断)

33. 自動ボリューム (コマンド : d u)

音量レベルを自動調整します。

送信

[d][u][セット ID][データ][x]

[データ] 0 : オフ
1 : オン

確認応答

[u][セット ID][OK/NG][データ][x]

34. スピーカー (コマンド : d v)

スピーカーのオン/オフを切り替えます。

送信

[d][v][セット ID][データ][x]

[データ] 0 : オフ
1 : オン

確認応答

[v][セット ID][OK/NG][データ][x]

35. タイマー（コマンド : f a)

現在の日時を設定します。

送信

[f][a][セット ID][データ 1][データ 2][データ 3][Cr]

[データ 1] 0 : 月曜日

1 : 火曜日

2 : 水曜日

3 : 木曜日

4 : 金曜日

5 : 土曜日

6 : 日曜日

[データ 2] 00H~17H (時)

[データ 3] 00H~3BH (分)

確認応答

[a][セット ID][OK/NG][データ 1][データ 2][データ 3][x]

データを読み込む場合は、FFH が [データ 1]、[データ 2]、および [データ 3] に対して入力されます。それ以外の場合は、すべてが NG として扱われます。

36. オンタイマー（オン/オフ タイマー）のタイマー（コマンド : f d)

電源オンの時刻を設定します。

送信

[f][d][セット ID][データ 1][データ 2][データ 3][Cr]

	1.	2.	3.
[データ 1]	f1h~f4h (1つのインデックスを読み取り)	e0h~e4h (1つのインデックスを削除)、e0h (すべてのインデックスを削除)	01h~80h (書き込み) (曜日)
	f1 : [On Time] (オンタイマー) リストの1番目のインデックスを読み取り	e0 : [On Time] リストのすべてのインデックスを削除	ビット0 (01h) : 月曜日
	f2 : [On Time] リストの2番目のインデックスを読み取り	e1 : [On Time] リストの1番目のインデックスを削除	ビット1 (02h) : 火曜日
	f3 : [On Time] リストの3番目のインデックスを読み取り	e2 : [On Time] リストの2番目のインデックスを削除	ビット2 (04h) : 水曜日
	f4 : [On Time] リストの4番目のインデックスを読み取り	e3 : [On Time] リストの3番目のインデックスを削除	ビット3 (08h) : 木曜日
			ビット4 (10h) : 金曜日
		e4 : [On Time] リストの4番目のインデックスを削除	ビット5 (20h) : 土曜日
			ビット6 (40h) : 日曜日
			ビット7 (80h) : 毎日
			(1fh) : 月~金曜日
			(3fh) : 月~土曜日
			(60H) : 土~日曜日

[データ 2] 00H~17H、ffh (時)

[データ 3] 00H~3bH、ffh (分)

現在の[On Time]リストを読み取り/削除する場合、[データ 2]および[データ 3]のすべてを0xffにする必要があります

ex1 : fd 01 f1 ff ff : [On Time]リストの1番目のインデックスを読み取る場合

ex2 : fd 01 e1 ff ff : [On Time]リストの1番目のインデックスを削除する場合

ex3 : fd 01 3f 02 03 : 1つの[On Time]のデータに「月~土曜日、02:03」を書き込む場合

確認応答

[d][セット ID][OK][データ 1][データ 2][データ 3][x]

37. オフタイマー (オン/オフ タイマー) のタイマー (コマンド : f e)

電源オフの時刻を設定します。

送信

[f][e][セット ID][データ 1][データ 2][データ 3][Cr]

	1.	2.	3.
[データ 1]	f1h~f4h (1つのインデックスを読み取り)	e0h~e4h (1つのインデックスを削除)、e0h (すべてのインデックスを削除)	01h~80h (書き込み) (曜日)
	f1 : [On Time] (オンタイマー) リストの1番目のインデックスを読み取り	e0 : [On Time] リストのすべてのインデックスを削除	ビット 0 (01h) : 月曜日
	f2 : [On Time] リストの2番目のインデックスを読み取り	e1 : [On Time] リストの1番目のインデックスを削除	ビット 1 (02h) : 火曜日
	f3 : [On Time] リストの3番目のインデックスを読み取り	e2 : [On Time] リストの2番目のインデックスを削除	ビット 2 (04h) : 水曜日
	f4 : [On Time] リストの4番目のインデックスを読み取り	e3 : [On Time] リストの3番目のインデックスを削除	ビット 3 (08h) : 木曜日
			ビット 4 (10h) : 金曜日
		e4 : [On Time] リストの4番目のインデックスを削除	ビット 5 (20h) : 土曜日
			ビット 6 (40h) : 日曜日
			ビット 7 (80h) : 毎日
			(1fh) : 月~金曜日
			(3fh) : 月~土曜日
			(60H) : 土~日曜日

[データ 2] 00H~17H、ffh (時)

[データ 3] 00H~3bH、ffh (分)

現在の[On Time]リストを読み取り/削除する場合、[データ 2]および[データ 3]のすべてを 0xff にする必要があります

ex1 : fd 01 f1 ff ff : [On Time] リストの1番目のインデックスを読み取る場合

ex2 : fd 01 e1 ff ff : [On Time] リストの1番目のインデックスを削除する場合

ex3 : fd 01 3f 02 03 : 1つの[On Time]のデータに「月~土曜日、02:03」を書き込む場合

確認応答

[e][セット ID][OK][データ 1][データ 2][データ 3][x]

38. 入力選択のスケジュール (コマンド : f u) (メイン画像入力)

曜日に応じたテレビの入カソースを選択します。

送信

[f][u][セット ID][データ 1][データ 2][Cr]

[データ 1] f1h~f4h (1つのインデックスを読み取り/書き込み)

f1 : [On Time] (オンタイマー) 入力の1番目のインデックスを読み取り

f2 : [On Time]入力の2番目のインデックスを読み取り

f3 : [On Time]入力の3番目のインデックスを読み取り

f4 : [On Time]入力の4番目のインデックスを読み取り

データ (16 入力進数)

[データ 2] 07 RGB : PC

08 HDMI/DVI (HD-DVD)

09 HDMI/DVI (PC)

A DisplayPort (HD-DVD)

B DisplayPort (PC)

現在の[On Time]入力を読み取り/削除する場合、[データ 2]を 0xff にする必要があります

ex1 : fu 01 f1 ff : [On Time]入力の1番目のインデックスを読み取る場合

ex2 : fu 01 f3 07 : 1つの[On Time]入力データを3番目のインデックス「RGB」に書き込む場合

確認応答

[u][セット ID][OK][データ 1][データ 2][x]

39. スリープ タイマー (コマンド : f f)

電源オフの時刻を設定します。

送信

```
[f][f][セット ID][データ][Cr]
```

[データ]	0 : オフ
-------	--------

1 : 10

2 : 20

3 : 30

4 : 60

5 : 90

6 : 120

7 : 180

8 : 240

確認応答

```
[f][セット ID][OK/NG][データ][x]
```

40. 自動電源オフ (コマンド : f g)

自動電源オフを設定します。

送信

```
[f][g][セット ID][データ][Cr]
```

[データ]	0 : オフ
-------	--------

1 : オン

確認応答

```
[g][セット ID][OK/NG][データ][x]
```

41. 遅延電源投入（コマンド : f h）

電源をオンにするときのスケジュール遅延を設定します（単位：秒）。

送信

[h][セット ID][データ][Cr]

[データ] 00H~64H（データ値）

実データのマッピング	0 : ステップ 0
	:
	A : ステップ 10
	:
	F : ステップ 15
	10 : ステップ 16
	:
	64 : ステップ 100

確認応答

[h][セット ID][OK/NG][データ][x]

42. 言語（コマンド : f i）

OSD の言語を設定します。

送信

[i][セット ID][データ][Cr]

[データ]	0 : 英語
	1 : フランス語
	2 : ドイツ語
	3 : スペイン語
	4 : イタリア語
	5 : ポルトガル語
	6 : 中国語
	7 : 日本語
	8 : 韓国語
	9 : ロシア語

確認応答

```
[i][セット ID][OK/NG][データ][x]
```

43. DPM 選択 (コマンド : f j)

DPM (ディスプレイの電源管理) 機能を設定します。

送信

```
[f][セット ID][データ][Cr]
```

[データ]	0 : オフ
	1 : オン

確認応答

```
[j][セット ID][OK/NG][データ][x]
```

44. リセット (コマンド : f k)

画像と画面のリセット、および出荷時設定へのリセットを実行します。

送信

```
[f][k][セット ID][データ][Cr]
```

[データ]	0 : 映像リセット
	1 : 画面リセット
	2 : 工場出荷状態へリセット

確認応答

[k][セット ID][OK/NG][データ][x]

45. 省エネモード (コマンド : f l)

省エネ設定を行います。

送信

[f][l][セット ID][データ][Cr]

[データ]	0 : オフ
	1 : (静的レベル 1)
	2 : (静的レベル 2)
	3 : (静的レベル 3)

確認応答

[l][セット ID][OK/NG][データ][x]

46. 電源ランプ (コマンド : f o)

電源インジケータのランプを設定します。

送信

[f][o][セット ID][データ][Cr]

[データ]	0 : オフ
	1 : オン

確認応答

[o][セット ID][OK/NG][データ][x]

47. シリアル番号チェック (コマンド : f y)

シリアル番号を読み取ります。

送信

[f][y][セット ID][データ][Cr]

[データ] データ FF (シリアル番号を読み取ります)

確認応答

[y][セット ID][OK/NG][データ 1]~[データ 13][x]

[データ] データ形式は ASCII コードです

48. ソフトウェア バージョン (コマンド : f z)

ソフトウェアのバージョンを確認します。

送信

[f][z][セット ID][データ][Cr]

[データ] FFH : 読み込み

確認応答

[z][セット ID][OK/NG][データ][x]

49. 入力選択 (コマンド : x b)

ディスプレイの入力ソースを選択します。

送信

[x][b][セット ID][データ][Cr]

[データ]	60H : RGB (PC)
	90H : HDMI/DVI (HD-DVD)
	A0H : HDMI/DVI (PC)
	B0H : DisplayPort (HD-DVD)
	C0H : DisplayPort (PC)

確認応答

[b][][セット ID][][OK][データ][x]

[データ]	60H : RGB (PC)
	90H : HDMI/DVI (HD-DVD)
	A0H : HDMI/DVI (PC)
	B0H : DisplayPort (HD-DVD)
	C0H : DisplayPort (PC)

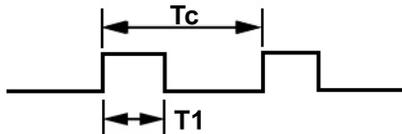
赤外線コード

この方法を使用すると、ディスプレイに赤外線リモコンを接続できます。

リモコンの赤外線コード

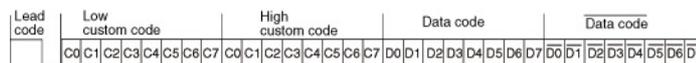
出力波形

- 単一パルス、37.917 kHz 信号を使用して 455 kHz に変調
- 搬送周波数
 - $FCAR=1/Tc=fosc/12$
 - 時比率= $T1/Tc=1/3$



フレームの構成

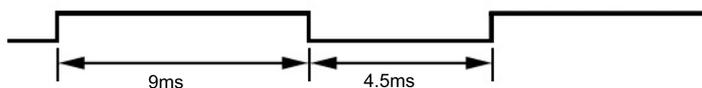
- 先頭フレーム



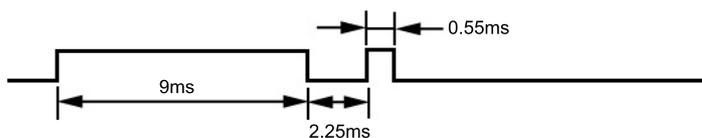
- リピート フレーム



リードコード

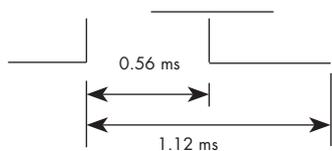


リピートコード

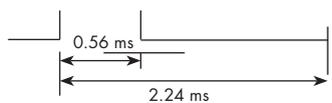


ビット記述

- ビット「0」

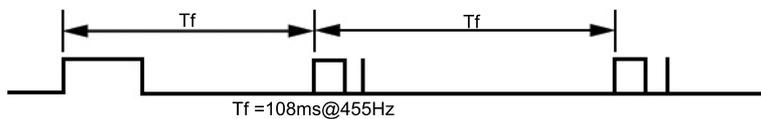


- ビット「1」



フレーム間隔 : Tf

キーが押されている間は波形が送信されます。



赤外線コード表

コード (16進数)	機能	注
40	上向き矢印▲	リモコンのボタン
41	下向き矢印▼	リモコンのボタン
06	右向き矢印▶	リモコンのボタン

コード (16 進数)	機能	注
07	左向き矢印 ◀	リモコンのボタン
08	電源オン/オフ	リモコンのボタン
C4	モニターのオン	リモコンのボタン (赤外線識別コード)
C5	モニターのオフ	リモコンのボタン (赤外線識別コード)
09	ミュート	リモコンのボタン
95	省エネモード	リモコンのボタン
0B	入力	リモコンのボタン
43	メニュー	リモコンのボタン
5B	終了	リモコンのボタン
4D	PSM	リモコンのボタン
44	OK	リモコンのボタン
10	数字キー 0	リモコンのボタン
11	数字キー 1	リモコンのボタン
12	数字キー 2	リモコンのボタン
13	数字キー 3	リモコンのボタン
14	数字キー 4	リモコンのボタン
15	数字キー 5	リモコンのボタン
16	数字キー 6	リモコンのボタン
17	数字キー 7	リモコンのボタン
18	数字キー 8	リモコンのボタン
19	数字キー 9	リモコンのボタン
79	ARC (指定)	リモコンのボタン (赤外線識別コード)
02	+ (音量上げ)	リモコンのボタン
03	- (音量下げ)	リモコンのボタン
E0	明るさ (∧) (Page UP)	リモコンのボタン
E1	明るさ (∨) (Page Down)	リモコンのボタン
28	戻る	リモコンのボタン
99	自動画面調整	リモコンのボタン
72	ID のオン (赤色)	リモコンのボタン (赤外線識別コード)
71	ID のオフ (緑色)	リモコンのボタン
63	(黄色)	リモコンのボタン
61	(青色)	リモコンのボタン

コード (16進数)	機能	注
7B	タイトル	リモコンのボタン
B0	再生▶	リモコンのボタン
B1	停止■	リモコンのボタン
BA	一時停止II	リモコンのボタン
8F	巻き戻し◀◀	リモコンのボタン
8E	早送り▶▶	リモコンのボタン
D5	RGB PC	赤外線識別コード (入力で[RGB PC]を選択)
C6	HDMI/DVI	赤外線識別コード (入力で[HDMI/DVI]を選択)
76	ARC (4:3)	赤外線識別コード (4:3 モードのみ)
77	ARC (16:9)	赤外線識別コード (16:9 モードのみ)
AF	ARC (ズーム)	赤外線識別コード(ズーム、シネマ ズームのモードのみ)
C8	USB	

D 規定に関するご注意

Federal Communications Commission notice (米国向け)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Hewlett Packard Company may void the user's authority to operate the equipment.

Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RF/EMI connector hoods to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

Declaration of Conformity for products marked with the FCC logo (米国向け)

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For questions regarding the product, contact:

Hewlett Packard Company

P. O. Box 692000, Mail Stop 530113

Houston, Texas 77269-2000

Or, call 1-800-HP-INVENT (1-800 474-6836)

For questions regarding this FCC declaration, contact:

Hewlett Packard Company

P. O. Box 692000, Mail Stop 510101

Houston, Texas 77269-2000

Or, call (281) 514-3333

To identify this product, refer to the Part, Series, or Model number found on the product.

Canadian notice (カナダ向け)

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Avis Canadien (カナダ向け)

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

European Union regulatory notice (欧州連合向け)

Products bearing the CE marking comply with the following EU Directives:

- Low Voltage Directive 2006/95/EC
- EMC Directive 2004/108/EC
- Ecodesign Directive 2009/125/EC, where applicable

CE compliance of this product is valid if powered with the correct CE-marked AC adapter provided by HP.

Compliance with these directives implies conformity to applicable harmonized European standards (European Norms) that are listed in the EU Declaration of Conformity issued by HP for this product or product family and available (in English only) either within the product documentation or at the following web site: <http://www.hp.eu/certificates/> (type the product number in the search field).

The compliance is indicated by one of the following conformity markings placed on the product:

	For non-telecommunications products and for EU harmonized telecommunications products, such as Bluetooth® within power class below 10mW.
	For EU non-harmonized telecommunications products (If applicable, a 4-digit notified body number is inserted between CE and !).

Please refer to the regulatory label provided on the product.

The point of contact for regulatory matters is: Hewlett-Packard GmbH, Dept./MS:HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, GERMANY.

German ergonomics notice (ドイツ向け)

HP products which bear the “GS” approval mark, when forming part of a system comprising HP brand computers, keyboards and monitors that bear the “GS” approval mark, meet the applicable ergonomic requirements. The installation guides included with the products provide configuration information.

日本向け

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

Korean notice (韓国向け)

B급 기기
(가정용 방송통신기기)

이 기기는 가정용(B급)으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

電源コードについて

このディスプレイの電源には自動ライン電圧切替機能 (ALS) が付属しています。この機能によって、ディスプレイは 100~120 V または 200~240 V の AC 電圧で動作します。

このディスプレイに付属の電源コードおよびプラグは、電気用品安全法に適合しており、日本国内でご使用いただけます。

お買い上げの製品を海外でお使いになる場合は、その国で認定された電源コードをお買い求めください。

電源コードは、製品のラベルに記載された電圧と電流の定格に適合したものでなければなりません。ラベルに記載されている値より大きい定格のコードを使用してください。また、ワイヤの直径は 0.75 mm²/18 AWG 以上、長さは 1.8~3.6 m でなければなりません。使用する電源コードの種類については、HP のサポート窓口までお問い合わせください。

電源コードの上には物を置かないでください。また、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように、プラグ、コンセント、および製品側の電源コネクタの取り扱いにも注意して配線してください。

日本国内での電源コードの要件

この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属の電源コードのみをお使いください。

⚠ 注意： 付属の電源コードを、他の製品で使用しないでください。

製品環境に関するご注意

有害物質の破棄

この HP 製品には、廃棄の際に特別な処理を必要とする水銀が液晶ディスプレイの蛍光ランプに含まれています。

これらの物質の廃棄には環境保護のための規定が設けられている場合があります。廃棄またはリサイクルについての情報は、お住まいの地域の自治体または EIA (Electronic Industries Alliance) (<http://www.eiae.org/>、英語サイト) に問い合わせてください。

Disposal of waste equipment by users in private households in the European Union (欧州連合向け)



This symbol on the product or on its packaging indicates that this product must not be disposed of with your household waste. Instead, it is your responsibility to dispose of your waste equipment by handing it over to a designated collection point for the recycling or waste electrical and electronic equipment. The separate collection and recycling of your waste equipment at the time of disposal will help to conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment. For more information about where you can drop off your waste equipment for recycling, please contact the local city office, the household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

化学物質

HP では、REACH (Regulation EC No 1907/2006 of the European Parliament and the Council) などの法的要件に準拠するため、弊社製品に含まれる化学物質に関する情報を、必要に応じてお客様に提供することに努めています。お使いの製品の化学物質情報に関する報告書を参照するには、<http://www.hp.com/go/reach/> (英語サイト) にアクセスしてください。

HP リサイクル プログラム

HP では、使用済みの電子機器や HP 製インク カートリッジのリサイクルを推奨しています。日本でのリサイクル プログラムについて詳しくは、<http://h50146.www5.hp.com/program/suppliesrecycling/jp/ja/hardware/index.asp> を参照してください。

製品の部材表示について

日本における製品含有表示法、JISC0950, 2008 に基づき、製造事業者は、2006 年 7 月 1 日以降に販売された電気・電子機器の特定化学物質の含有について情報提供を義務付けられました。製品の部材表示につきましては、<http://www.hp.com/go/jisc0950/> (英語サイト) を参照してください。

有毒有害物质/元素的名称及含量表

根据中国
《电子信息产品污染控制管理办法》

液晶显示器

部件名称	有毒有害物质和元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
液晶显示器显示面板	X	X	○	○	○	○
机箱/其它	X	○	○	○	○	○

CRT 显示器

部件名称	有毒有害物质和元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
阴极射线管	X	○	○	○	○	○
机箱/其它	X	○	○	○	○	○

○：表示该有毒或有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求以下。

X：表示该有毒或有害物质至少在该部件所用的某一均质材料中的含量超出 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。

表中标有“X”的所有部件都符合欧盟 RoHS 法规——“欧洲议会和欧盟理事会 2003 年 1 月 27 日关于电子电器设备中限制使用某些有害物质的 2002/95/EC 号指令”。

注：环保使用期限的参考标识取决于产品正常工作的温度和湿度等条件。

Turkey EEE regulation (トルコ向け)

In Conformity with the EEE Regulation

EEE Yönetmeliğine Uygundur

Ukraine Restriction of Hazardous Substances (ウクライナ向け)

Обладнання відповідає вимогам Технічного регламенту щодо обмеження використання деяких небезпечних речовин в електричному та електронному обладнанні, затвердженого постановою Кабінету Міністрів України від 3 грудня 2008 № 1057.

The equipment complies with requirements of the Technical Regulation, approved by the Resolution of Cabinet of Ministry of Ukraine as of December 3, 2008, in terms of restrictions for the use of certain dangerous substances in electrical and electronic equipment.